

令和6年度

事業報告書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

令和6年度事業報告

当財団は京都コンサートホール、地域文化会館（5館）、ロームシアター京都の指定管理者として施設の運営に当たるとともに、京都市交響楽団の運営を行っております。

令和6年度は、京都コンサートホール、地域文化会館は5期目の指定管理期間（令和5年度から8年度）の2年度目を迎え、ロームシアター京都については、8年間（令和元年度から8年度）の指定管理者として後期期間の2年度を迎える年でありました。

各施設において、「中期経営計画2025」に基づき策定した、指定管理者申請において提案した取組を着実に推進し、京都の文化芸術の魅力を様々な方法により発信し、文化芸術による心豊かな社会に資する取組を進めてまいりました。

また、京都市交響楽団においては、京都市交響楽団ビジョンの戦略に基づき、第14代常任指揮者である、沖澤のどかと共に名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図ってまいりました。

『公益目的事業』

■ 京都コンサートホール

I 主催・共催事業〔全37事業42公演7講座〕

京都コンサートホールでは、主催事業のテーマを「京都から始まる音楽、新たな出会い」とし、音楽で人と人をつなぎ、多種多様な「出会い」をお客様に提供できるようなバラエティに富む事業を企画しました。いずれの事業も、令和7年度の大阪・関西万博や京都コンサートホール開館30周年の「プレ・イヤー」に相応しい、華やかなラインナップとなりました。

1 京都市交響楽団の更なる飛躍を促進



当ホールを活動拠点とする京都市交響楽団が持つ魅力や可能性を、幅広いお客様に周知できるよう2公演を実施しました。「第28回京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」では、京都堀川音楽高等学校出身で現在ドイツ在住の若手指揮者 杉本優と京都市立芸術大学で教鞭をとるピアニストの高木竜馬をゲストに迎え、ウィーンにゆかりのある作曲家による名作を取り上げました。

『京都コンサートホール×京都市交響楽団プロジェクト Vol.5』では、令和6年12月30日で指揮者生活から引退した元 京都市交響楽団常任指揮者の井上道義が出演する、京都でのファイナル・コンサートを開催しました。本公演の様子はKBS京都で放映され、大きな話題となりました。

また、京都市交響楽団メンバーによる室内楽活動を促進するために、「京都しんぷおにえった」「京都 ラ ビッシュ アンサンブル Vol.20」「KYOTO STRINGS」の3公演を制作し共催しました。

2 質の高い音楽芸術の鑑賞機会を提供

令和6年度は、海外オーケストラとして世界的ピアニストのサー・アンドラーシュ・シフによる弾き振りで「カペラ・アンドレア・バルカ」によるオール・モーツァルト・プログラムのコンサートを開催しました。チケットは完売となり、巨匠らによる演奏に会場は熱気に満ち溢れました。

アンサンブルホールムラタでは、令和6年に没後100年を迎えたフランスの大作曲家 フォーレによるピアノ五重奏曲全曲演奏会を開催し、フォーレ演奏を十八番とするピアニストのエリック・ル・サージュと国内外で活躍する日本の若手弦楽器奏者による演奏をお聴きいただきました。また、神尾真由子と上原彩子、成田達輝と萩原麻未といった、ヴァイオリンとピアノのデュオ・コンサートを2公演開催し、名コンビによる珠玉の演奏をご堪能いただ

きました。さらに、世界的ヴァイオリニストであるパトリツィア・コパチンスカヤとカメラータ・ベルンを招聘してのコンサートのみならず、公演前日に京都の能楽師との即興セッションを実施。京都らしさをアピールしながら、アーティストの魅力を多角的に引き出すことに成功しました。



また、海外アーティストによる世界水準の演奏をお楽しみいただく『北山クラシック倶楽部』シリーズでは、ヴァイオリンとピアノのデュオや弦楽四重奏（2公演）、ピアノ・リサイタルの計4公演を開催し、京都にしながら世界一流の演奏を気軽にお楽しみいただく機会を創出しました。

3 日本有数のパイプオルガンの活用



ヨハネス・クライス社製のパイプオルガンの音をお楽しみいただく「オムロン パイプオルガン コンサートシリーズ」では、日本のオルガニストの演奏をお楽しみいただく“オルガニスト・エトワール”シリーズとして、神奈川県立音楽堂のオルガン・アドヴァイザーを務める中田恵子を、また、海外のオルガニストをご紹介します“世界のオルガニスト”シリーズとして、札幌コンサートホールKitaraの第

25代専属オルガニストのファニー・クソーをゲストに迎え、どちらの公演もそれぞれの視点から「ヨハン・セバスティアン・バッハ」に焦点をあてたプログラムを披露いただきました。

4 ジュニアオーケストラの運営／大学生を中心とした実演家の育成支援

京都市立芸術大学をはじめ関西の音楽大学8大学が集結する「関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル IN 京都コンサートホール」では、京都市交響楽団桂冠指揮者の大友直人による指揮で、日本の作曲家 千住明によるオペラ作品や、ベルリオーズの《幻想交響曲》といった大曲をお届けしました。



京都市ジュニアオーケストラは、地域文化会館との連携事業である「ミュージック・サマー・コンサート」や「第19回京都市ジュニアオーケストラコンサート」のほか、新たな試みとして、初めてのアウトリーチ・コンサートをくろ谷金戒光明寺で開催し、多くのお客様にご来場いただくことができました。また、令和7年度の創立20周年を見据え、初のクラウドファンデ

ィングに挑戦しました。京都コンサートホールのミュージックアドバイザーであり、現在、オーケストラアンサンブル金沢のアーティストック・リーダーを務める指揮者の広上淳一と共に、令和8年3月に能登半島地震で被害にあわれた方々に生演奏を届けるプロジェクトを企画。たくさんの方々からご支援をいただき、無事にプロジェクトは成立しました。

5 子どもや青少年の創造性を育む事業



子どもから大人まで幅広い年齢層の聴衆を対象とした『KCH的クラシック音楽のススメ 第5回』では、京都市交響楽団の特別客演コンサートマスターを務める、ヴァイオリニストの石田泰尚をゲストに迎えてヴァイオリン・リサイタルを開催しました。ビギナーも愛好家も両方が楽しめる幅広いプログラムをご準備いただき、チケットは完売となりました。また、コンサ

ート前日には石田氏による京都市ジュニアオーケストラ室内楽メンバーの公開レッスンを開催。石田氏の指導者としての顔を垣間見ることができる、貴重な機会となりました。

幼稚園児がオルガンに親しむ体験型事業「ポジティブオルガン体験講座」では、子どもが楽しみながら学べるよう様々な工夫を施しながら、4園・計83名の幼児にパイプオルガンの音が出る仕組みや音楽の楽しさを伝えました。

「Join us (ジョイ・ナス)！～キョウト・ミュージック・アウトリーチ～」では、京都ゆかりの若手ピアニスト2名をオーディションで採用し、京都コンサートホール第3期登録アーティストとして一年間、アウトリーチ・コンサートを市内の教育機関等で開催しました。また、3月に開催した「ジョイント・コンサート」では、2名のピアニストの想いがたっぷり込められたプログラムを披露いただき、大勢のお客様に登録アーティストの存在や活動を周知することができました。

6 地域の活性化と市民参加型演奏会の開催



平日午前11時開演のランチタイム・コンサート「京都北山マチネ・シリーズ」では、ヴァイオリン、歌、チェロ、ピアノといった多彩な4公演を開催し、国内外で活躍する若手から中堅の日本人演奏家の魅力をお届けしました。また、公募によって出演者を決定する「リレーコンサート」では、小学生から80代まで幅広い年齢層のアマチュア演奏家が出演し、多彩な演奏を楽しむことができる

コンサートとなりました。北山あおいフェスティバルと同時開催し、まちづくりを通じて地域の活性化に貢献しました。

7 賑わい事業の開催

京都コンサートホール1階エントランスホールを活用した賑わい事業として「ニューイ・ブランシュKYOTO2024」（白夜祭）及び「京都コンサートホール ロビーコンサート」を開催しました。「ニューイ・ブランシュKYOTO2024」では、「ヴァリアシオン（変奏曲）」をテーマに、様々な時代の作曲家による変奏曲をヴァイオリンとピアノによる演奏でお楽しみいただきました。「ロビーコンサート」では、ギター、ハープ、マリンバの3公演を開催し、いずれの公演でも200名を超える来場者に恵まれました。

ホール1階のカフェでは、京都コンサートホール ミュージックアドバイザーの広上淳一によるトークイベントを開催。京都で活躍する異分野のプロフェッショナル3名をゲストに迎え、クラシック音楽と他ジャンルが交差する面白さや可能性など、好奇心の源泉を語り合うような極上の時間をお届けすることができました。

また、3月に北山エリアで“出逢い”をテーマに開催された「北山あおいフェスティバル」の一環として、地域の学生と団体が協働で「北山あおい茶会」を開催しました。

さらには、クリスマスの季節感を創出するためにイルミネーションを設置しました。



(参考) 京都コンサートホールにおける事業・公演数の変遷

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事 業 数	46 事業	35 事業	44 事業	37 事業
公 演 数	55 公演	42 公演	51 公演	42 公演
講 座 数	4 講座	4 講座	7 講座	7 講座

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度はうち中止11事業11公演、延期2事業2公演、令和4年度はうち中止1事業1公演。

8 音楽芸術の人材育成のための支援制度

将来の音楽芸術文化を担う人材の育成に資するため、音楽芸術活動を財政面で支援する「京都コンサートホール ホール利用助成制度」を引き続き実施し、大学の交響楽団演奏会など9事業を支援しました。

(参考) 令和6年度 京都コンサートホール ホール利用助成金交付制度による支援実績

事 業 名	事 業 日	主 催 者
立命館大学交響楽団 第131回定期演奏会 リハーサル	5月16日 (木) 大ホール	立命館大学交響楽団
立命館大学交響楽団 第131回定期演奏会	5月17日 (金) 大ホール	
立命館大学マンドリンクラブ 第61回定期演奏会	12月13日 (金) アンサンブルホール ムラタ	立命館大学 マンドリンクラブ
立命館大学交響楽団 第132回定期演奏会 リハーサル	12月19日 (木) 大ホール	立命館大学交響楽団
立命館大学交響楽団 第132回定期演奏会	12月20日 (金) 大ホール	
京都橘大学吹奏楽部 第23回定期演奏会 リハーサル	12月23日 (月) 大ホール	京都橘大学吹奏楽部
京都橘大学吹奏楽部 第23回定期演奏会	12月24日 (火) 大ホール	
京都大学交響楽団 第216回定期演奏会	1月14日 (火) 大ホール	京都大学交響楽団
大谷中学高等学校吹奏楽部 第61回定期演奏会	3月25日 (火) 大ホール	大谷中学高等学校吹奏楽部
京都精華学園高等学校吹奏楽部 第38回定期演奏会	3月26日 (水) 大ホール	京都精華学園高等学校 吹奏楽部
京都市立上京中学校吹奏楽部 第41回定期演奏会	3月27日 (木) 大ホール	京都市立上京中学校 吹奏楽部
京都女子中学校・高等学校コーラス部 第27回定期演奏会	3月27日 (木) アンサンブルホール ムラタ	京都女子中学校・高等学校 コーラス部

II 受託事業

1 指定管理業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

京都コンサートホールにおいては、「京都におけるクラシック音楽の殿堂」としての役割を果たすとともに、音楽とのすばらしい出会いを創出し、市民の芸術文化振興の拠点となるよう、利用者ニーズの把握を積極的に行うなど利用の促進に努めました。

また、リピーター確保に向けた取組として、施設で働く従事者に利用者アンケートの結果をフィードバックし、利用者からの評価・ご意見等を共有・改善に向けた協議をすることで、顧客満足度の向上に努めました。

実績1 利用料金収入額

区分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ホール料金	215,182千円	170,928千円	211,856千円	202,873千円	228,317千円
駐車場利用	17,956千円	11,355千円	14,604千円	15,776千円	16,752千円
計	233,138千円	182,283千円	226,460千円	218,649千円	245,069千円

実績2 入場者数

区分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	325,000名	296,000名	296,000名	296,000名	296,000名
実績値	295,466名	103,894名	200,135名	241,075名	260,290名
目標達成度	90.9%	35.0%	67.6%	81.4%	87.9%

実績3 日数利用率

大ホール

区分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	70%	68%	69%	71%	69%
実績値	69%	72%	73%	68%	80%
目標達成度	98.5%	105.8%	105.7%	95.7%	115.9%

アンサンブルホールムラタ

区分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	58%	60%	61%	62%	61%
実績値	61%	55%	62%	62%	60%
目標達成度	105.1%	91.6%	101.6%	100%	98.3%

2 お客様へのサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進

平成21年度からCS（顧客満足度向上）委員会やホールレセプション会議を毎月開催し、施設の管理運営における問題点の改善や利用者のサービス向上に努めました。

特にCS委員会においては、施設で働く各部門の従事者の代表が参加し、利用ニーズの把握、要望の検証等を行い、「利用者が望むものは何か」を常に考え、利用者の期待に応える接客・応対について協議してまいりました。

また、さらなるご意見を収集するために、ホワイエやバックヤードに設置したQRコードから回答できるWEBアンケートでは、170件のご意見をいただき、特にご意見の多かった大ホール内の案内表示を見直し、サービス向上ならびに改善に繋げることができました。

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置

平成23年11月から実施している「理事長への手紙」を引き続き実施するとともに、施設の利用に関する要望・提案をお伺いするため、「お客様ご意見箱」を設置し、貴重なご意見を参考にサービス向上に努めました。

また、京都コンサートホール・ロームシアター京都の施設をご利用いただいた皆様には、後日、アンケートを兼ねたお礼状（サンキューレター）を送付し、リピーターの確保及び利用者ニーズの把握に努めました。

(参考) アンケート調査の結果【満足と回答いただいた割合】

項目	京都コンサートホール	東部文化会館	呉竹文化センター	西文化会館ウエスティ	北文化会館	右京ふれあい文化会館	ロームシアター京都
案内表示	88%	88%	89%	96%	78%	76%	58%
応対の仕方	91%	82%	89%	96%	82%	75%	88%
身だしなみ	93%	82%	87%	96%	83%	74%	89%
態度	92%	84%	91%	97%	79%	79%	90%
言葉づかい	88%	84%	93%	97%	87%	79%	88%
説明の仕方	89%	84%	90%	97%	87%	76%	86%
整理・整頓	90%	84%	91%	94%	86%	77%	69%

(3) 京都コンサートホール鑑賞マナーの推奨

鑑賞者に演奏会をより快適な空間・環境で楽しんでいただくために、「鑑賞マナーリーフレット」の配布や客席内にて鑑賞マナー向上を啓発するパネルをレセプションにより掲示する等して、京都コンサートホールに来ていただいた全ての鑑賞者が満足していただけるよう、より良い環境づくりに努めました。

(4) 施設管理体制の更なる強化

京都コンサートホールは開館から29年が経過したことで、施設・設備の経年劣化が進んでいるため、京都市との指定管理契約に基づき、安全面や利用者の快適性を視野に入れた施設等の修繕に取り組みつつ、職員の危機管理意識の更なる向上を目的として、「防火・防災訓練」も行いました。

また、大規模修繕へ向けて、京都市に対し引き続き計画的対応を提案してまいりました。

(参考) 主な修繕事例 (財団実施分)

修 繕 内 容
消防設備泡消火ポンプ修繕
エレベーター電源装置及びLED表示器修繕
大ホール音響調整卓修繕
アンサンブルホールムラタ インターカム修繕
大ホール舞台床破損部分修繕
大ホール1階ウォータークーラー修繕

3 広報・宣伝、チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

(1) 自主事業ラインアップ・リーフレットの発行

年間の主催事業ラインアップを事業のシリーズ毎に分類して紹介するレイアウトで構成し、発行しました。

(2) 催物カレンダーの発行

京都コンサートホールが自ら企画する主催・共催事業や、京都コンサートホールで開催される最新の催物情報を掲載したコンサートガイドを毎月発行し、催物情報の提供やチケット販売促進に努めました。



ア 主催事業ラインアップ・リーフレット

イ 催物カレンダー

(3) ホームページ等の充実

WEBアクセシビリティ向上のため、共通メニューの改修やお客様が目的の公演チケットをスムーズに購入出来るように、購入画面への遷移を的確にする改修を行いました。

また、初めてホールを利用しようとするお客様も利用料金がイメージしやすいよう、料金シミュレーション機能を導入し、貸館利用の促進に努めました。

インターネットの利点を最大限に活かし、常に新鮮な情報を発信するため、Facebook、X (旧Twitter)、Instagram、公式ブログやYouTubeの公式アカウントから効果的な情報提供を行いました。

(4) 電子チケットの運用及び利便性向上への取組

京都コンサートホールとロームシアター京都で開催する催しのチケットが相互の窓口で購入できるサービスや、インターネットからのチケット購入において各施設の窓口での引き取りを可能にするなど、チケット票券管理システムを効果的に運用しつつ、電子チケットやチケットカウンターにおけるキャッシュレス決済の運用により、引き続き、お客様の利便性の向上を図りました。

(5) セット券の販売

京都コンサートホールでは、アンサンブルホールムラタで世界のトップクラスの室内楽を鑑賞する「北山クラシック倶楽部」において、100枚限定で4公演のセット券を販売しました。

(6) 学生、高齢者、障がいのある方等が音楽を鑑賞しやすい環境の整備

京都コンサートホールの主催事業において、学生割引、シニア割引、障がいのある方割引に加え、30歳以下の方に向けたU-30券の販売を実施し、学生、高齢者、障がいのある方等、誰もが音楽を鑑賞しやすい環境を整備しました。

(7) ウィークデーパッケージプランの運用

クラシック音楽だけではなく、他のジャンルにも間口を広げ、多様な音楽ファンが集えるホールとして「京都コンサートホールウィークデーパッケージプラン」を引き続き実施し、平日のホール利用率向上に貢献しました。

(参考) 京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン事業数

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事 業 数	5 事業	9 事業	5 事業	3 事業

(参考) 令和6年度 京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン実施実績

事 業 名	事 業 日	主 催 者
第32回シネマ・コンサートの会	7月12日 (金) アンサンブルホールムラタ	シネマ・ソラ
若き音楽家 交流コンサート vol.2	11月29日 (金) アンサンブルホールムラタ	Dolce5音楽企画
岡本知高 Concerto del Soprano	2月27日 (火) 大ホール	(一財)民主音楽協会 関西センター

(8) 外部資金の獲得

自主事業の実施に当たっては、文化庁助成、民間助成に加え、民間企業等からの協賛金の獲得に努めました。

(参考) 主な助成金獲得

助成元	事業名
(公財) ローム ミュージック ファンデーション	第20回 京都市ジュニアオーケストラコンサート
劇場・音楽堂等機能強化推進事業 (独) 日本芸術文化振興会	京都北山マチネ・シリーズ ほか
(公財) 日本室内楽振興財団	没後100年記念公演 フォーレ ピアノ五重奏曲 全曲演奏会
(一社) 地域創造	Join us (ジョイ・ナス)！～キョウト・ミュージック・アウトリーチ～
(公財) 青山音楽財団	第20回 京都市ジュニアオーケストラコンサート

(参考) 主な協賛金獲得

協賛元	事業名
オムロン (株)	オムロン パイプオルガン コン서트シリーズ
ローム (株)	第28回 京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート
村田機械 (株)	北山クラシック倶楽部2024
京都商工会議所女性会	第20回 京都市ジュニアオーケストラコンサート

(9) 京都コンサートホール スペシャルスポンサー制度

京都の文化芸術のさらなる発展と、その力を活用した地域社会づくりの充実のために設けたスポンサー制度を通じて、企業の皆さまにご支援を賜りました。

(参考) 京都コンサートホール スペシャルスポンサー制度獲得数

区分	獲得件数	金額
プラチナ	1件	200万円
ゴールド	1件	100万円
シルバー	3件	150万円
ブロンズ	15件	150万円
合計	20件	600万円

4 各種会員制度の運営

(1) 各種会員制度の会員数拡大に向けた取組

「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」「京響友の会」の各会員制度の周知を図るとともに、会員共通サービスとして京都市交響楽団の練習風景の公開や会員限定イベントを開催するなど、各会員制度を有機的に活用し、新規会員の獲得に努めました。

また、オンライン会員の「フレンズ会員」（ロームシアター京都との共通会員）については、メールマガジンで先行発売の情報などを配信し、会員数の維持・拡大を図りました。

(参考) 会員数の推移

会員制度	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
京都コンサートホール・ ロームシアター京都 Club	2,897名	2,530名	3,003名	3,486名	3,768名
京響友の会 個人会員	1,433名	1,337名	—	—	—
京響友の会 法人会員	95社	92社	—	—	—
京響友の会 チケット会員	—	—	1,305口	1,291口	1,383口
京響友の会 スポンサー会員	—	—	11社	17社	14社

※京響友の会について、令和3年度は休止、令和4年度より制度見直し

(参考) フレンズ会員登録数

年度	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規登録数	7,857名	5,873名	9,475名	8,831名	10,215名
累計登録数	50,898名	64,338名	70,211名	79,686名	98,732名

(2) 賛助会員制度の運営

京都コンサートホール及びロームシアター京都の主催事業の一層の充実のため、年間を通じた支援を受けるべく、賛助会員制度（サポーター・パートナー会員）を設けています。会員の方には、会報の送付やチケットの先行予約のほか、会員向けに事業報告会やバックステージツアー、ゲネプロ公開を行い、事業内容を深くご理解いただくことで継続してご支援いただけるように努めました。

なお、寄附金は京都コンサートホール及びロームシアター京都の主催事業の事業費に充当しました。

また、ご支援の輪を広げるため、会員アンケート等を行い、制度の見直しを検討し、令和7年度から新たなコースを開設するなどの準備を行いました。

(参考) 会員数と寄付金

会員区分	平成 30 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
スペシャルサポーター (法人)	1 件 50 万円	2 件 100 万円	2 件 100 万円	1 件 50 万円	1 件 50 万円
サポーター (法人)	31 件 340 万円	17 件 180 万円	17 件 180 万円	20 件 210 万円	24 件 210 万円
スペシャルパートナー (個人)	32 件 162 万円	28 件 149 万円	16 件 103 万円	23 件 105 万円	25 件 118 万円
パートナー (個人)	45 件 90 万円	48 件 96 万円	50 件 100 万円	45 件 90 万円	42 件 65 万円
少 額 寄 付	— —	— —	— —	1 件 1 万円	— —
合 計	109 件 642 万円	95 件 525 万円	85 件 483 万円	90 件 456 万円	92 件 443 万円

5 施設運営の充実に向けた取組

京都コンサートホールの中長期的なホール運営や事業について助言をいただくことを目的として、文化芸術分野に加え、広報や経営、教育、行政、観光などの専門家による外部委員で構成した「京都コンサートホール運営協議会」を実施しました。

協議会では、「ホールのさらなる魅力向上の取組み」と「クラウドファンディングの活用」についての助言をいただきました。

■ 地域文化会館

(東部文化会館、呉竹文化センター、西文化会館ウエスティ、北文化会館、右京ふれあい文化会館)

I 主催事業〔全45事業45公演10講座〕

地域文化会館はそれぞれの地域における文化芸術振興のハブとなる拠点であり、地域の様々な文化芸術活動の受け皿となる施設であります。

それぞれの地域の実情や市民のニーズに応じて、それらの活動に対する支援や、情報発信を行うことで、誰もが気軽に文化芸術を親しめる環境を整えています。

地域文化会館が有するコーディネート力により、地域の文化芸術・伝統芸能の情報収集や発信等を行い、地域との関わりを強化し、地域文化会館が地域の中心となって、文化芸術に根ざした心豊かな暮らしを実感できるような取組を推進しました。

1 地域文化芸術活動活性化協議会の開催

地域文化芸術活動活性化協議会からの助言や意見交換を行い、地域の文化芸術活動の活性化に向け、地域の文化芸術活動団体・個人と協同し、文化事業を実施しました。

令和6年度は西文化会館ウエスティにおいて、京都市立芸術大学公認クラブ 現代音楽研究会club MoCoの協力のもと、「ウエスティ・パフォーマンス広場“CONTEMPORARY SOLO CONCERT”」、右京ふれあい文化会館では、名作映画の上映会「京都・太秦キネマのまち～長谷川一夫の名作「近松物語」～」を開催しました。

※ 地域文化芸術活動活性化協議会とは

文化芸術活動団体、行政の代表者、教育機関の代表者などで構成され、地域ネットワークの構築、文化芸術の情報提供、アウトリーチ事業の開催協力、施設運営への助言や意見交換などを行うとともに、協議会の持つネットワークを活用し、文化芸術活動情報の受発信、事業の協働企画・開催など、地域文化会館が文化芸術の活動拠点として、より一層、地域における文化芸術の活性化を図るとともに、魅力ある地域のまちづくりに貢献するため、平成23年度から各地域文化会館に設置しています。

2 地域文化会館の重点的な取組

地域文化会館では、以下の5つの視点を重視した文化事業を実施しました。

- ① 文化芸術活性化パートナーシップ事業
- ② 地域における文化芸術普及事業
- ③ 地域の文化芸術活動を担う人材育成事業
- ④ 住民の文化芸術活動への支援型事業
- ⑤ 施設間の交流事業

(1) 文化芸術活性化パートナーシップ事業



地域の文化芸術の活性化を図るため、各地域文化会館ではパートナーシップ団体と協働で、鑑賞型の「無料公演」に加え、地域の子どもたちを対象とした育成型プログラムである「教育プログラム」を実施しました。

呉竹文化センターでは、京・伏見音楽サークル和音が0歳児から大人までを対象にした演奏会「和音 なつのおんがくかい」を開催し、地域の保育園と共演で園児がステージでラジオ体操を披露するなど、また、北文化会館では、合唱団「葡萄の樹」が地域の小中高校生及び教員までを対象に、合唱の基礎を学ぶワークショップ「合唱のイントロダクション カノンとハーモニー～わらべうたを使って」を開催し、合唱の基礎となるハンドサインやハーモニー、日本語の歌い方等を楽しんでいただきました。

(参考) 令和6年度パートナーシップ団体

会館名	パートナーシップ団体
東部文化会館	日吉ヶ丘ギターマンドリンアンサンブル
呉竹文化センター	京・伏見音楽サークル和音
西文化会館ウエスティ	特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団
北文化会館	合唱団「葡萄の樹」
右京ふれあい文化会館	吹奏楽団「雅」

※ 文化芸術活性化パートナーシップ事業とは

演劇・音楽・ダンスなど舞台芸術活動団体（パートナーシップ団体）と地域文化会館が、協働して地域の文化芸術を活性化することを目的とし、魅力ある舞台芸術を披露する「無料公演」、未来を担う子どもたちを対象にワークショップやミニコンサートなどを行う「教育プログラム」を会館内外で年1回以上開催することを条件に、拠点となる文化会館のホールを練習で利用する場合、通常料金の2割で利用することができるほか、文化会館が活動情報の発信や地域活動への協力などを行う事業です。

(2) 地域における文化芸術普及事業

ア 音楽芸術文化の紹介

音楽芸術を広く市民に紹介し、文化芸術の振興を図ることを目的に、北文化会館では、日本を舞台に活躍するプロの演奏家による公演「ジェイコブ・コーラーソロピアノ JAZZ コンサート」を開催しました。



イ 伝統的芸術文化の紹介

現代に受け継がれる伝統芸能等を紹介する場を設け、広く発信することで、保存・活動団体等の活動支援を行い、市民が伝統芸能等への理解を深める機会とするため、公演及びワークショップを開催しました。右京ふれあい文化会館では、右京地域に継承されている伝統芸能で国の重要無形民俗文化財に指定されている民俗芸能の嵯峨大念佛狂言保存会による「新春、まるごと！嵯峨大念佛狂言。」を開催し、東部文化会館では、プロの噺家による質の高い伝統話芸の伝統芸能「新春寄席」、呉竹文化センターでは、わかりやすい解説とワークショップを交えた伝統芸能シリーズ「地域みんなの狂言鑑賞会」、をそれぞれ開催しました。



(参考) 令和6年度の伝統芸能公演ラインナップ

会館名	タイトル	内容
呉竹文化センター	伝統芸能シリーズ 「地域みんなの狂言鑑賞会」	小学生を対象とし、狂言の解説とワークショップを交えた鑑賞会
東部文化会館	伝統芸能「新春寄席」	桂小春団治、林家染左、笑福亭呂好、露の紫、笑福亭笑利による5席の落語を披露
右京ふれあい文化会館	右京地域の伝統芸能事業 「新春、まるごと！嵯峨大念佛狂言。」	地域伝統芸能の振興を図ると共に伝統芸能の継承者の保持・育成を目的とした公演

ウ アウトリーチ事業

活動団体（文化芸術活動団体）を主催団体（学校等の教育施設、病院や福祉施設、商業施設等）に派遣し、ワークショップやミニコンサートを行うアウトリーチ事業については、活動団体と地域文化会館が連携し、地域の文化芸術の振興に向けて取り組みました。呉竹文化センターでは、龍谷大学落語研究会が地域社会福祉協議会が主催する催しでの公演を開催しました。また、右京ふれあい文化会館では、京都府立北嵯峨高等学校吹奏楽部による地域児童館公演、京都大学落語研究会が、地域社会福祉協議会が主催する催しでの落語を披露するなど、地域の文化芸術の振興に寄与しました。



(3) 地域の文化芸術活動を担う人材育成事業

ア 地域の教育機関との連携

京都市立芸術大学と各地域文化会館が連携して才能ある若い世代を支援するため、西文化会館ウエスティで「ウエスティ音暦（おとごよみ）」2公演、北文化会館で「文化会館コンサート」1公演を開催しました。また、東部文化会館では、京都橘大学と連携し、文化芸術の振興に寄与する人材の育成を目的とした「文化芸術による地域貢献プロジェクト」を引き続き実施しました。



イ 子どもを対象とした体験型事業



次世代の文化芸術活動を担う子どもたちが劇場という場を体験し、多様な芸術表現に触れ、豊かな感性と創造性を身につけるための事業として、西文化会館ウエスティでは「夏休みウエスティたんけんツアー」を実施し、バックステージツアーでは舞台音響・照明の操作体験を提供しました。

(4) 住民の文化芸術活動への支援型事業

ア 市民参加型事業（活動団体の支援）

市民の誰もが文化芸術活動に参加し自己表現することに感動できる事業として、令和6年度も引き続き、北文化会館で「市民創造ステージ」を、東部文化会館では、地域との連携・協働による参加型事業として、地域のコーラスサークルによる発表や交流の場とする「第19回コーラス・フェスティバル in 山科・醍醐」を開催しました。



イ 地域と連携しアーティストのパフォーマンスを支援



地域ネットワークを活用し、地元で活動している文化芸術活動団体にパフォーマンスの場を提供し、地域への活動情報の発信などを通じてアーティストの技術・芸術性向上への支援を行う西文化会館ウエスティの「ウエスティ・パフォーマンス広場」を開催しました。

ウ 地域における文化芸術の普及を支援

地域における文化芸術振興や地場産業の更なる活性化に寄与するため、右京ふれあい文化会館では、右京区の太秦に映画撮影所があることから、「京都・太秦キネマのまち」と題し、世紀の名優の映画として「京都・太秦キネマのまち～長谷川一夫の名作「近松物語」～」、京都芸術大学映画学科の取組である北白川派の作品と日本映画の名作の2本立て「京都・太秦キネマのまち～北白川派作品「のさりの島」(2020) と大映4Kリマスター版、市川雷蔵の「炎上」(1958)～」の上映と作品関係者による対談や講演をそれぞれで開催しました。



エ 創作文化活動の作品展示

賑わいスペースの創出として、東部文化会館では「ギャラリーエコム」、呉竹文化センターでは「くれたけミニギャラリー」、西文化会館ウエスティでは「ウエスティ ギャラリー」、北文化会館では「KITABUNミニギャラリー」、右京ふれあい文化会館では「右京ふれあいミニギャラリー」を通年で開催し、創作文化活動を行う、個人・団体に作品展示の場を無料で提供しました。

オ 舞台芸術活動なんでも相談会

市民の舞台芸術の発表の場において芸術性や創造性を高めるため、公演やコンサートでの照明・音響演出、舞台運営方法など舞台づくりに関する相談について、専門性豊かな技術担当者が提案やアドバイスを行いました。

(5) 施設間の交流事業

ア 鑑賞型事業の実施

京都市交響楽団と連携し、文化会館5館において低料金で0才から入場できる「京都市交響楽団 ZERO歳からのみんなのコンサート2024」を開催し、乳幼児をもつ世代が子どもと一緒に、気兼ねなく生演奏に触れ、音楽を楽しむ機会を提供しました。

イ 未就学児向けの公演の実施

ロームシアター京都との連携事業であるシアターデビュー促進プログラムでは、東部文化会館、西文化会館ウエスティの2館で海外からの招聘作品ナイブニ人形劇場『こいぬと機関車-CHOO.CHOO.WHISTLE.WOOF!-』fromチェコを各館でそれぞれ2公演開催し、呉竹文化センターでは、糸あやつり人形劇団みのむしによる「マリオネッ

トの〈アヒル〉を作ろう」、北文化会館では、チチカカコ&Hideによる「太鼓とおどろう!」、右京ふれあい文化会館では、東野祥子による「カラダであそぼ!ダ・ダ・ダンス!ワークショップ」といったワークショップを各館でそれぞれ2講座を実施するなど、子どもたちの創造性を豊かにするとともに、親子で舞台芸術に触れる機会を提供しました。



ウ 京都市ジュニアオーケストラの活動支援

京都コンサートホールとの連携事業で京都市交響楽団の楽団員等が指導する「京都市ジュニアオーケストラ」においては、音楽活動を充実させるため、練習会場として各地域文化会館を活用するとともに、右京ふれあい文化会館では、「ミュージック・サマー・コンサート」を開催し、活動内容の情報を発信するなど、若いオーケストラを支える環境づくりを行いました。

エ 京響コーラスの活動支援

京響コーラスの練習会場として文化会館での利用支援や練習公開を実施することで、京響コーラスのレベルアップと地域の文化振興を図りました。

(参考) 文化会館における事業・公演数の変遷

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事 業 数	55 事業	53 事業	45 事業	45 事業
公 演 数	67 公演	69 公演	55 公演	45 公演
講 座 数	8 講座	7 講座	5 講座	10 講座

※上記の数にアウトリーチ事業は含まない。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度はうち中止11事業14公演3講座、延期1事業1講座、令和4年度はうち中止1事業2公演、令和5年度はうち中止3事業3公演。

II 受託事業

1 指定管理業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

地域文化会館（ホール）が市民の文化芸術活動の拠点としての役割を十分果たすとともに、指定管理者として利用料金収入の増収を図るため、営業活動を強化するとともに割引制度による利用の促進を図りました。

東部文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入場者数(ホール) 数値	42,127 名	19,208 名	33,661 名	37,154 名	42,636 名
利用料金収入額	30,775 千円	23,808 千円	29,019 千円	27,458 千円	28,772 千円
駐車場利用料金収入額	3,955 千円	2,472 千円	3,354 千円	3,435 千円	3,651 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目 標 値	62 %	55 %	64 %	64 %	64 %
実 績 値	64 %	59 %	59 %	55 %	58 %
目 標 達 成 度	103.2 %	107.2 %	92.1 %	85.9 %	90.6 %

呉竹文化センター

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入場者数(ホール) 数値	59,884 名	30,460 名	48,605 名	58,269 名	62,975 名
利用料金収入額	37,665 千円	32,059 千円	40,093 千円	43,028 千円	45,431 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目 標 値	78 %	77 %	75 %	75 %	75 %
実 績 値	74 %	67 %	74 %	79 %	82 %
目 標 達 成 度	94.8 %	87.0%	98.6 %	105.3 %	109.3 %

西文化会館ウエスティ

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入場者数(ホール) 数値	34,678 名	16,721 名	26,337 名	27,058 名	25,457 名
利用料金収入額	31,098 千円	25,071 千円	29,516 千円	27,746 千円	28,057 千円
駐車場利用料金収入額	5,002 千円	2,742 千円	4,238 千円	4,931 千円	5,018 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目 標 値	62 %	62 %	62 %	62 %	62 %
実 績 値	60 %	63 %	61 %	55 %	55 %
目 標 達 成 度	96.7 %	101.6 %	98.3 %	88.7 %	88.7 %

北文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入場者数（ホール）数値	35,666 名	17,089 名	29,168 名	32,590 名	34,147 名
利 用 料 金 収 入 額	38,125 千円	29,320 千円	37,013 千円	38,345 千円	37,252 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目 標 値	80 %	80 %	80 %	80 %	80 %
実 績 値	77 %	67 %	77 %	75 %	74 %
目 標 達 成 度	96.2 %	83.7 %	96.2 %	93.7 %	92.5 %

右京ふれあい文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入場者数（ホール）数値	41,727 名	24,123 名	34,921 名	38,667 名	41,968 名
利 用 料 金 収 入 額	33,630 千円	29,513 千円	35,827 千円	38,731 千円	41,545 千円
駐 車 場 利 用 料 金 収 入 額	4,285 千円	2,888 千円	4,044 千円	5,429 千円	6,398 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目 標 値	76 %	78 %	69 %	69 %	69 %
実 績 値	69 %	63 %	71 %	64 %	70 %
目 標 達 成 度	90.7 %	80.7 %	102.8 %	92.7 %	101.4 %

(2) 舞台運営に関する企画等

主催者から舞台美術、舞台音響、舞台照明等に関する企画業務を受託しました。これまでの舞台運営業務を通して蓄積したノウハウを利用者に提供し、利用者はもとより、観客に満足していただける舞台運営に努めました。

(参考) 令和6年度 催し物の企画業務に関する受託状況

会 館 名	受託件数	受 託 内 容	収 入 金 額
右京ふれあい文化会館	4 件	バレエ発表会、学芸会等	44,000 円

2 お客様へのサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進

利用者・来場者の安心・安全を確保し、施設管理運営における問題点の改善やサービス向上のため、職員や委託業者が参加するCS（顧客満足度向上）委員会等を開催しました。

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置【再掲】

京都コンサートホール 8ページ参照

(3) 施設・設備の維持管理

各施設ともに、開館から数十年が経過しているため、施設の所有者である京都市による施設の改修及び修繕のほか、財団においても京都市との指定管理契約に基づき、計画的な改修並びに修繕に取り組みました。

(参考) 主な修繕事例（財団実施分）

会館名	修繕内容
東部文化会館	ホールメインスピーカー用パワーアンプ修繕
呉竹文化センター	会議室・和室カーテン取替修繕
西文化会館ウエスティ	消防設備不良箇所修繕
北文化会館	消防設備不良箇所修繕
右京ふれあい文化会館	ホールピンスポット クセノンランプ取替修繕

3 集客のための取組

(1) 地域文化会館割引制度

平成23年度からの利用料金制度導入に伴い、地域文化会館のホール利用を促進するため、平日のホールの追加利用・区分連続利用に対するサービスの向上に努めました。

ア 平日直前利用割引制度

京都コンサートホール（大ホール・アンサンブルホールムラタ）及びロームシアター京都（メインホール・サウスホール）、地域文化会館（ホール）のいずれかで、演奏会・コンサート・講演会等の諸手続きが完了しており、ホール本番利用日の2箇月前の日から本番までの平日利用に限り、ホールを準備・リハーサル等で新たに利用される場合は、通常利用料金の50%を割り引く制度。

(参考) 令和6年度 平日直前利用割引制度適用件数

会館名	受託件数	主な利用者
東部文化会館	7件	バレエ教室、ダンス教室、学校関係等
呉竹文化センター	6件	学校関係、ダンス教室、合唱団体等
西文化会館ウエスティ	2件	合唱団体、バレエ教室
北文化会館	3件	音楽団体
右京ふれあい文化会館	10件	音楽団体、演劇関係等
計	28件	

イ 平日連続区分利用割引制度

ホールを平日に2区分以上連続して利用する場合は、通常利用料金の15%を割引く制度。

(参考) 令和6年度 平日連続区分利用割引制度適用件数

会館名	受託件数	主な利用者
東部文化会館	47件	幼稚園、保育園、学校関係等
呉竹文化センター	71件	学校関係、幼稚園、演劇関係等
西文化会館ウエスティ	23件	学校関係、幼稚園、バレエ教室等
北文化会館	78件	学校関係、幼稚園、バレエ教室等
右京ふれあい文化会館	66件	ダンス教室、バレエ教室等、音楽教室等
計	285件	

■ ロームシアター京都

I 主催・共催事業〔39事業103公演18講座（うち1事業2公演中止）〕

ロームシアター京都は、開館以来掲げる「劇場文化をつくる」というコンセプトのもと、より一層、自主事業の推進に努めてまいりました。これまでと同様に、「つながり（交流）」を全事業の包含する要素として位置づけ、「つくり（創造）」、「育て（育成）」、「活かす（生活）」有機的なサイクルを作り上げました。あわせて、賑わいスペース事業やミュージックサロン事業等により、賑わいの創出や文化芸術を身近に親しむための取組を行いました。

令和6年度のラインアップテーマは「好奇心の入口、世界への出口」。プログラムには、国内外のアーティストによる探究心と知的冒険に満ちた取組が並びました。

1 主催・共催事業関連

(1) 交流事業



海外アーティストによる上演、国際交流を促進する取組は、フランス、アイルランド、ポルトガル、ドイツからの舞台が来日しました。なかでも、ヴァンクリーフ&アーペルと協働したフェスティバル「ダンス リフレクションズ」では、ラシッド・ウランタン『Corps extrême—身体の極限で』、マルコ・ダ・シウヴァ・フェレイラ『カルカサ』と世界最前線のダンスを紹介することができました。ノエ・スーリエ

『The Waves』、ドレスデン・フランクフルト・カンパニー、ヤニス・マンダフニス&マノン・パラン『SCARBO』と合わ

せて、世界水準の演目によって、「文化の殿堂」としての存在感を発揮しました。屋外公演（ノエ・スーリエ『Passage』）やワークショップも行い、アーティストと市民との交流機会創出に努めました。また、京都国際舞台芸術祭といった国内外の交流と地域の賑わいを創出する事業も好評裡に終了しました。



(2) 創造事業



劇場の財産となる作品のプロデュースや国内外のアーティストとの協働により、ロームシアター京都を創造の場として活かした事業を展開しました。これまでも話題作を生み出してきた「レパトリーの創造」では、劇作家・演出家の市原佐都子による新作『キティ』を、日本、韓国、香港の俳優で上演しました。家父長制や資本主義、大量生産・消費システムのひずみから生じる不条理や滑稽、そして欲望のグローバルな均一化を、痛烈なQ（クエスチョン）に昇華して突きつけた本作品は、高い評価を得て、京都初演につづく東京公演ののち、ブリュッセル（ベルギー）、

ウィーン（オーストリア）の巡演が決定しており、さらなる国内・海外公演も計画されています。

元 京都市交響楽団常任指揮者の井上道義によるオペラ「ラ・ボエーム」は、全国の7つの公共劇場、7つのオーケストラとの共同制作で実現しました。



令和6年度事業で製作・上演した、高谷史郎による『Tangent（タンジェント）』は、欧州文化首都タルトゥ2024（エストニア）、ヴェネチア（イタリア）での巡演を行い、ロームシアター京都発のプロダクションを世界にも届けました。

（3）育成事業



開館当初より継続する「小澤征爾音楽塾」や「国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室」の充実に加え、「劇場の学校プロジェクト」、「リサーチプログラム」などの次代を担う若者を育成する事業を行いました。令和3年度から開始した「芸能の在る処～伝統芸能入門講座～」においては、レクチャーに加え、京都・滋賀をめぐるバスツアーも実施し、

観客の開拓や育成・普及啓発に取り組みました。京都芸術センターと協働して行う創造支援プログラム「KIPPU」や京都市ユースサービス協会と連携する劇場の仕事体験「未来のわたしー劇場の仕事ー」によって、将来的な人材育成に寄与する事業も行いました。

（4）生活事業

夏の「プレイ！シアター in Summer」、秋の「OKAZAKI PARK STAGE」と毎年好評の恒例イベントを中心に、子どもから大人まで劇場を満喫し、気軽に舞台芸術を体験できる催しを開催しました。また、地域文化会館と協働し、小さな子どもとその保護者向けの公演を上演し、生活と密着したプログラムを展開したほか、京都市立芸術大学と協働し、「ちっちゃい焚き火（薪ストーブ）を囲んで語り、いろいろ焼いて食べる会」を実施しました。ボランティアスタッフを募り、運営に参画いただきました。劇場と生活を結びつける機会の創出を目指し、オープンスペースの活用、ホールを飛び出して行う事業などを通して、京都・岡崎地域の施設や団体と連携を深め、地域の活性化に努めました。



【主な事業】

● 演劇

- ・第370回～第374回 市民寄席
- ・第73回 京都薪能—光源氏の夢—
- ・KAAT神奈川芸術劇場プロデュース『ライカムで待っとく』
- ・COCOON PRODUCTION 2024 『ふくすけ2024—歌舞伎町黙示録—』
- ・プレイ！シアター in Summer 2024 <ステージプログラム>
ミッドナイトシアター『はじめての一步』 from アイスランド
- ・能楽チャリティ公演～祈りよとどけ、京都より～
- ・レパトリーの創造 市原佐都子/Q『キティ』

● 舞踊

- ・ノエ・スーリエ『The Waves』
- ・RYUICHI SAKAMOTO + SHIRO TAKATANI 『TIME』
- ・ラシッド・ウランダン 『Corps extrêmes — 身体の極限で』
- ・マルコ・ダ・シウヴァ・フェレイラ『CARCAÇAカルカサ』
- ・ドレスデン・フランクフルト・ダンスカンパニー
ヤニス・マンダフニス&マノン・パラン ソロダンス『SCARBO (スカルボ) 』

● 音楽

- ・Sound Around 004 メインアーティスト：荒木優光
- ・加藤訓子プロデュース スティーヴ・ライヒプロジェクト
- ・2024年度全国共同制作オペラ 歌劇「ラ・ボエーム」
- ・新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室2024「ドン・パスクワレ」
- ・クラシック×ジャズ 大西順子 meets 京都市交響楽団
- ・小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXXI ヴェルディ：歌劇「椿姫」
- ・中川裕貴「弭（ゆはず）」

● 総合

● 参加する劇場へ ～学芸・教育プログラム

- ・京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 2024
- ・ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム “KIPPU”
- ・ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業
- ・プレイ！シアター in Summer 2024 <オープンデイ>
- ・岡崎活性化事業 OKAZAKI PARK STAGE 2024
- ・ちっちゃい焚き火（薪ストーブ）を囲んで語らい、いろいろ焼いて食べる会
- ・舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～
- ・劇場の学校

2 賑わいスペース事業

「京都会館賑わいスペース事業プラン」を推進するため、賑わいスペース事業者として京都市に選定されたカルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社（CCC）と調整・連携を図り、市民や観光客の皆様の憩いの場となるパークプラザを中心に、ブック&カフェ、レストラン、キオスクといった常設の店舗が高い評価を得て運営されるよう努めました。

令和6年度においても、ロームシアター京都が、舞台芸術のためだけでなく、より開かれた場として多くの方の交流の場となることを目指し、賑わいスペース事業者と連携し、生活文化等に関わる様々な文化イベントを27件実施しました。

事業内容	店舗名	営業時間※
ブック&カフェ (パークプラザ1階)	京都岡崎 蔦屋書店	午前10時から午後8時
	スターバックスコーヒー	午前8時から午後10時
レストラン (パークプラザ2階)	京都モダンテラス	午前11時から午後10時
キオスク (サウスホール1階 ホワイエ内)	ファミリーマート	午前8時から午後8時
ギャラリー・ライブラリー (パークプラザ3階共通ロビー)	BOOK&ART GALLERIA	午前10時から午後5時 (開館時間等に応じて変更)

※臨時休館等により、変更の場合あり。

実績 入店者数

区分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	1,708,053名	1,266,065名	1,732,889名	1,745,810名	1,788,672名

3 ミュージックサロン事業

音楽をはじめとした文化芸術に様々な形で触れ合うことができる音楽総合体験施設「ミュージックサロン」(パークプラザ3階)を、公益財団法人ローム ミュージック ファンデーションと共同運営しています。①音楽その他文化芸術に関する資料の展示、②セミナー、講演会、コンサート等の文化芸術イベントの開催を中心としており、約5箇月間展示を実施しました。イベントに関しては、「ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート」3回と「小澤征爾音楽塾展トーク&コンサート」1回をオンライン配信(ライブ、アーカイヴ)し、多くの方にお届けしました。

事業日	事業名・内容等
1 6月16日(日)	ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 動乱の時代と魂の倒影リフレクション 出演：濱崎由紀、入江一雄、佐藤晴真、滝千春 司会：岩崎理衣
2 7月15日(月・祝)	ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 辻本玲×津田裕也 チェロで紡ぐ、ピアノの詩人ショパンの調べ 出演：辻本玲、津田裕也 司会：岩崎理衣

3	9月7日 (土)	ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 浜野与志男 ピアノで語った作曲家たち 出演：浜野与志男 司会：田添菜穂子
4	9月11日 (水) ~ 12月1日 (日)	【展示】 オペラの扉2024 ～ KNOCKING ON THE DOOR, OPERA EXHIBITION ~ コミカルオペラ展 すべて冗談！！愉快的オペラたち 新国立劇場が制作したオペラ・ブッファ作品にスポットをあて、「滑稽なオペラ」「ふざけたオペラ」を紹介。
5	2025年 1月18日 (土) ~ 3月16日 (日)	【展示】 小澤征爾音楽塾展2025 ヴェルディ作曲の歌劇「椿姫」を、小澤征爾音楽塾では初めて取り上げる。本展では、音楽塾の演出、装置、衣裳を中心としたプロダクションの見どころとともに、作品の魅力を紹介。さらに創設者／永久音楽監督である小澤征爾と音楽塾のあゆみを振り返るコーナーを設置。
6	2025年 2月5日 (水)	小澤征爾音楽塾展トーク&コンサート 元塾生による弦楽四重奏 小澤征爾音楽塾の原点を辿る 出演：近藤薫、三原久遠、村上淳一郎、門脇大樹 司会：田添菜穂子

実績 来場者数

区分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	9,440名	2,343名	2,970名	3,366名	6,058名

II 受託事業

1 指定管理業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

各施設の特性を生かした舞台芸術公演や式典、学会、講演会などの様々な利用があり、多くの方々にご来場いただくことができました。

多様な利用内容に伴う様々なニーズに応えられるよう、利用者やお客様のご案内、場内サービス、各種設備の運転等について、実際の利用状況や利用者からのご意見等を踏まえた改善を引き続き進め、安全、安心で快適な劇場空間の提供に努めました。

また、利用促進を図るため、施設利用を検討している方向けの利用説明会を開催したほか、施設利用者向けのメールマガジンを新たにスタートし、施設の空き状況や貸館に関する情報の提供を行いました。さらに利用許可申請書の受付方法について、従来の郵便等に加えメールによる受付も開始し、更なる利便性の向上を図りました。

実績 1 利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目 標 値	328,000 千円	346,296 千円	339,994 千円	340,634 千円	360,314 千円
実 績 値	333,812 千円	274,933 千円	343,413 千円	339,363 千円	361,511 千円
目標達成度	101.7 %	79.3 %	101.0 %	99.6 %	100.3 %

実績 2 入場者数

区 分	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目 標 値	510,000 名	330,000 名	330,000 名	500,000 名	500,000 名
実 績 値	497,784 名	210,564 名	332,861 名	352,568 名	356,716 名
目標達成度	97.6 %	63.8 %	100.8 %	70.5 %	71.3 %

実績 3 日数利用率

区 分		平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
メイン ホール	目 標 値	83 %	82 %	82 %	81 %	81 %
	実 績 値	81 %	63 %	82 %	77 %	77 %
	目標達成度	97.6 %	76.8 %	100 %	95.0 %	95.0 %
サウス ホール	目 標 値	82 %	76 %	76 %	80 %	80 %
	実 績 値	80 %	63 %	73 %	79 %	74 %
	目標達成度	97.6 %	82.8 %	96.0 %	98.7 %	92.5 %
ノース ホール	目 標 値	75 %	74 %	74 %	72 %	72 %
	実 績 値	72 %	67 %	78 %	78 %	73 %
	目標達成度	96.0 %	90.5 %	105.4 %	108.3 %	101.3 %

(2) MICE誘致に向けた関係機関との定期的な協議

多彩な文化・交流施設が集積し、国の「重要文化的景観」にも選定された岡崎エリアにおいて、より質の高いMICEの開催が可能となることを積極的にPRするとともに、MICE

等の誘致・対応に向けて、京都市及び京都文化交流コンベンションビューロー、みやこめっせ、京都市京セラ美術館等との情報連携を強化し、様々なニーズに応えました。

(3) 岡崎公園の利用受付業務

ロームシアター京都に隣接する岡崎公園の利用受付等に関する業務を京都市より受託し、申請書の受付等の業務を行いました。

2 お客様へのサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上委員会（CS委員会）や研修等の実施

利用者・来場者の安心・安全を確保し、施設管理運営における問題点の改善やサービス向上のため、職員や委託業者が参加するCS（顧客満足度向上）委員会や、危機管理ミーティングを定期的で開催しました。また、その中での提案をもとに、来場者の安全・安心の向上に向けた取組として、左京消防署、川端警察署を講師に迎え、「普通救命講習」「防犯講習」を実施しました。

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置【再掲】

京都コンサートホール 8 ページ参照

(3) 賑わいスペース事業者定期連絡会の開催

賑わいスペース事業における各店舗の責任者等との定期的な連絡会を開催し、日常的な施設運営に係る様々な情報共有を行い、サービスの向上に努めました。

(4) 施設管理体制の更なる強化

リニューアルオープンから9年を迎え、施設・設備も修繕や機器の取替えが必要となってきたことから、所有者である京都市による施設・設備の修繕のほか、財団においても京都市との指定管理契約に基づき、修繕や機能向上に取り組みました。

(参考) 主な修繕・機能向上等事例（財団実施分）

修 繕 ・ 機 能 向 上 内 容
空気調和機中性能フィルター取替修繕
メインホール舞台機構設備ボタン制御盤無停電電源装置取替修繕
サウスホールトイレ系統排気ファン修繕

3 広報・宣伝、チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

主催・共催ラインアップ・リーフレット、催物カレンダーの作成、ホームページやSNSの運用、賑わい事業者と連携した取組や、様々な広報媒体への働きかけ等により、効果的な情報提供や話題作りを行い、劇場への期待感を高めるとともに、施設の認知度を高める取組を引き続き進めました。

特にSNSの発信では、正確な情報をいち早くお届けすることに加え、劇場が身近に感じられるような発信を推し進めました。

また、「大阪・関西万博」「JTB推し旅」などの施設を舞台としたコラボレーション事業に取り組んだほか、「京都モダン建築祭2024」へ参画し京都会館から続く建築的価値の発信を行いました。

(1) 自主事業ラインナップ・リーフレットの発行

令和6年度も引き続き、主催事業ラインナップを事業の趣旨に分類して紹介するレイアウトで構成し発行しました。

(2) 催物カレンダーの発行

ロームシアター京都が自ら企画する主催・共催事業のほか、ロームシアター京都で開催される最新の催物情報を掲載したものを毎月発行し、催物情報の提供やチケット販売促進に努めました。



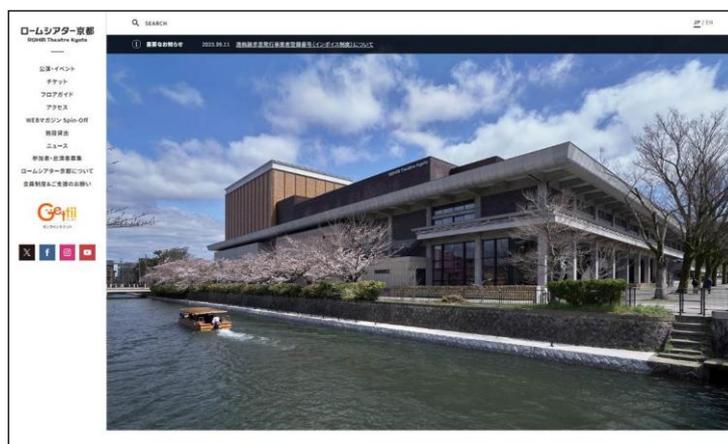
ア 主催事業ラインナップ・リーフレット



イ 催物カレンダー

(3) ホームページ等の充実

ホームページについては、アクセス分析等を踏まえ、適宜仕様変更を行いました。また、FacebookやX（旧Twitter）等のSNSも活用し、効果的な情報提供に努めました。



(4) 電子チケットの運用及び利便性向上への取組【再掲】

京都コンサートホール 10ページ参照

(5) 外部資金の獲得

自主事業の実施に当たっては、文化庁助成、民間助成に加え、民間企業からの協賛金の獲得に努めました。

(参考) 主な助成金獲得

助成元	事業名
(公財) ローム ミュージック ファンデーション	「新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室」
劇場・音楽堂等機能強化推進事業 (劇場・音楽堂等機能強化総合支援 事業) (独) 日本芸術文化振興会	ノエ・スーリエ『The Waves』、「劇場の学校」、 「プレイ！シアター in Summer 2024」 ほか * 令和6年度から5年間の継続支援
文化芸術活動基盤強化基金（クリエ イター等育成・文化施設高付加価値 化支援事業） (独) 日本芸術文化振興会	レパートリーの創造 ホープス 野村真人/西田悠哉 * 令和6年度から3年間の継続支援
劇場・音楽堂等機能強化推進事業 (共同制作支援事業) (独) 日本芸術文化振興会	2024年度全国共同制作オペラ 歌劇「ラ・ボエーム」
(一社) 地域創造	『ライカムで待っとく』
(独) 国際交流基金	レパートリーの創造『Tangent』エストニア公演
ゲーテ・インスティトゥート京都/大 阪	『SCARBO』

(参考) 主な協賛金獲得

協賛元	事業名
ヴァンクリーフ&アーペル	ノエ・スーリエ『The Waves』 ラシッド・ウランダン『Corps extrêmes — 身体 の極限で』 マルコ・ダ・シウヴァ・フェレイラ『CARÇAÇA』
京都信用金庫	「OKAZAKI PARK STAGE」
ローム (株)	「プレイ！シアター in Summer」 「新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室」
日東薬品工業ホールディングス (株)	「全国共同制作オペラ」
多数 (提灯協賛)	「市民寄席」
(一社) EPAD	『Tangent』(令和5年度製作)

4 各種会員制度の運営

(1) 各種会員制度の会員数拡大に向けた取組【再掲】

京都コンサートホール 12ページ参照

(2) 賛助会員制度の運営【再掲】

京都コンサートホール 12ページ参照

5 施設運用の充実にに向けた取組

ロームシアター京都の中長期的なビジョンやミッションに対して助言をいただくことを目的として、文化政策や劇場管理、舞台芸術に携わる専門家などの外部委員により構成した「ロームシアター京都運営懇談会」を令和5年度に設置し、令和6年度はロームシアター京都10周年記念事業や、劇場のミッション・ビジョンについて助言をいただきました。

また、舞台芸術全般に共通する課題等のトピックスを取り上げ、最新の事例を学ぶほか関係団体との交流を図る「ロームシアター京都舞台芸術懇話会」を新たに設置し、令和6年度は障害のある人への合理的配慮をテーマに開催しました。

■ 京都市交響楽団

I 主催・共催事業〔全26事業47公演（うち1事業1公演中止）〕

1 定期演奏会

常任指揮者2年目となる沖澤のどかが指揮する定期演奏会を7月、3月に開催し、いずれも多くの方にご来場いただきました。また、令和6年4月から首席客演指揮者を務めるヤン・ヴィレム・デ・フリーントが5月、1月の定期演奏会を指揮し、好評を博しました。さらに、巨匠から実力派、新進気鋭の若手まで幅広く指揮者やソリストを迎え、古典から近・現代まで魅力ある楽曲を数多く取り揃え、芸術性豊かで充実した演奏をお届けしました。

また、令和4年度から実施してきた金曜日公演「フライデー・ナイト・スペシャル」については令和6年度をもって終了し、令和7年度からは金曜公演も土曜公演と同一プログラムで開催することといたしました。



2 特別演奏会

恒例のスプリングコンサート、第九コンサート、ニューイヤーコンサートを開催し、充実した出演者と心躍る楽曲により、時節を彩る演奏をお届けしました。



3 特別演奏会（市外公演）

7月に開催した大阪公演と名古屋公演では、指揮者に三浦文彰、ピアノ独奏に辻井伸行を迎え、日本屈指の演奏力と評される京響の魅力为全国に発信し、知名度や評価の更なる向上を図りました。



(大阪公演 (ザ・シンフォニーホール))



(名古屋公演 (愛知県芸術劇場))

4 オーケストラ・ディスカバリー ～こどものためのオーケストラ入門～

「マエストロとディスカバリー！」と題して、オーケストラやクラシック音楽が持つ魅力を名曲の演奏と楽しいお話を交えてお届けしました。本公演は、定期演奏会の会員への導入コンサートとして位置付け、青少年の情操の向上や健全な心の育成を図るとともに、若い世代へのオーケストラの振興と普及を目的として開催し、将来のクラシック愛好家を育みました。

また、令和6年度から開催会場を京都コンサートホールからロームシアター京都へ移し、ファミリー層を中心に多くの来場者に親しまれる公演となりました。



5 ZERO歳からのみんなのコンサート

地域文化会館を会場に低料金で0歳から入場できる全6公演の演奏会を開催しました。日頃クラシック音楽に触れる機会の少ない市民の皆様には生の演奏を身近に楽しんでいただき、地域密着型のオーケストラとして、クラシック音楽の普及、クラシック音楽ファンの醸成、京響ファンの獲得を図りました。



6 ロームシアター京都及び地域文化会館との連携事業

芸術文化とのコラボレーションによる演奏会を開催し、オーケストラの生み出す新しい音楽世界の魅力を提供することにより、幅広いオーケストラファンの獲得を図りました。

7 共催事業

京都市内の小学生を対象とした音楽鑑賞教室は5日間10公演を開催し、中学生対象については、2日間3公演を京都コンサートホールで実施いたしました。演奏を直接体感することで、子どもたちの音楽に対する理解や関心を深め、クラシック音楽の普及の促進や、新たなクラシックファン京響ファンの獲得につなげました。

8 その他演奏会等

(1) 楽器講習会等

京都府吹奏楽連盟の協力のもと、中学生・高校生を対象に、京響メンバーが講師となり、楽器の実技指導や音楽全般に関する指導・助言を行いました。



(2) 京響コーラス

6月定期、8月定期、2月定期及び第九コンサートの計4回の演奏会で京都市交響楽団と共演しました。

(3) 京都市ジュニアオーケストラ

8月のサマーコンサートと1月の定期コンサートに向けて、楽団員によるジュニアオーケストラメンバーへの直接指導を行いました。コンサートも含めた一連の活動を通して、若い演奏家たちに演奏技術の向上や文化芸術を通して相互理解を図る貴重な機会を提供するとともに、一般の方々に未来を担う若い世代の演奏を鑑賞する機会を提供しました。

(4) 派遣（アンサンブル）演奏

京都市会での演奏をはじめ、京都市が開催する行事や依頼に基づくイベント等において、少人数の編成での演奏を行い、新たなファンの獲得に向けた取組を行いました。



II 京響友の会

令和6年度も「チケット会員」、「スポンサー会員」、「寄付会員」として、多くの方々にご入会いただきました。会員の皆様には友の会機関紙の送付に加え、定期演奏会等のチケットを割引価格で先行購入いただける案内や、会員限定の特別イベントの実施など、様々な特典をご提供しました。

III 受託事業

「関西6オケ!2024」、「京響福山演奏会」、「文化庁芸術祭主催公演アジア・オーケストラ・ウィーク」の実施など、京都市交響楽団の京都市外での知名度向上を図るとともに、より充実した主催事業の実施に向けた資金を獲得するため、びわ湖ホール主催のオペラをはじめ、計26事業42公演を受託しました。

IV 外部資金の獲得

自主事業の実施に当たっては、文化庁助成、民間助成に加え、「京響友の会」の制度を活用した民間企業からの協賛金の獲得に努めました。(京都コンサートホール 4 各種会員制度の運営 (1) 各種会員制度の会員数拡大に向けた取組 12 ページ参照)

(参考) 主な助成金獲得

助成元	事業名
文化庁、(独)日本芸術文化振興会	定期演奏会、オーケストラ・ディスカバリー、 スプリング・コンサート、名古屋公演
(公財)アフィニス文化財団	第698回定期演奏会
(公財)三菱UFJ信託芸術文化財団	第692回定期演奏会

■ その他

I 組織人員体制・配置等の最適化

管理運営施設の経営を総合的かつ安定的に展開するとともに、「中期経営計画2025」に掲げる目標の達成に向けた取組を推進してまいりました。

京都コンサートホール及び地域文化会館は、指定管理者としての2年度目、ロームシアター京都については、8年間の指定管理者として後期期間の2年度目となるに当たり、より適切な施設管理及び安定的な運営が推進できる体制を整えました。

組織体制を見直し、全体として効率化を図るとともに、施設間、所属間、所属内の連携をより一層高め、財団全体としての能力を最大限発揮できるよう、体制整備を行いました。

1 組織運営

以下の会議の定例的な開催により、京都コンサートホール、地域文化会館、ロームシアター京都及び京都市交響楽団の管理運営に係る事項について情報を共有し、貸館業務、施設管理業務の統一的な処理とそれぞれのホール特性に応じた主催事業の展開等について検討しました。

<定例的に開催した主要な会議>

財団定例会、コンサートホール連絡会議、文化会館運営会議、ロームシアター京都定例会、京都市交響楽団定例会

2 人事異動

令和6年4月1日付けで総数20名の人事異動を行いました。

(参考1) 財団職員数の推移

職名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般職員(総合職)	47名	49名	44名	43名
一般職員(楽団職)	81名	81名	83名	83名
嘱託職員	47名	51名	53名	60名
市からの出向職員	6名	6名	6名	6名
計	181名	187名	186名	192名

※各年度すべて4月1日現在の人数。

※一般職員(楽団職)については、定年再雇用楽団職員含む。

(参考2) 財団役職別職員数の推移

職名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
局長級	3名	3名	3名	2名
部長級	4名	4名	3名	4名
課長級	15名	18名	15名	16名
係長級	15名	13名	10名	9名
リーダー (主任)	13名	13名	14名	15名
職員	50名	55名	58名	63名
音楽スタッフ	4名	3名	3名	4名
楽団員	77名	80名	80名	79名
計	181名	187名	186名	192名

II 働きやすい職場づくりの推進

これまでの人事給与制度の運用を安定的に行うとともに、給与のベースアップを行うなど、どのような雇用形態の職員にとっても働きやすい職場環境づくりに努めました。

また、年次有給休暇の取得の促進や時間外労働の抑制を行うなど、働きやすい職場環境づくりに努めました。

III 人材育成・職員研修

職員一人ひとりが、常に知識、意欲、技術の向上を図ることで、利用者により一層好感度を高めていただくとともに、市民の文化芸術活動を適切に支援し、さらに文化芸術の振興のための事業を効果的に行うことができるよう研修を実施しました。

令和6年度は以下のとおり様々な研修を実施し、各職員のスキルアップや意識の改革をはかる機会を設けました。

また、各施設において消防訓練の実施など、様々な危機管理・安全対策研修や講習を実施することにより、不測の事態にも冷静に対応できるように備えました。

(参考) 令和6年度 研修内容

研修名	接遇マナー研修
実施日	令和6年6月25日(火)
受講人数	59名
会場	京都コンサートホール 大ホール舞台上

研修名	リーダー研修
実施日	令和6年7月1日(月)
受講人数	18名
会場	京都コンサートホール 大ホール舞台上

研 修 名	経理研修
実 施 日	令和6年9月3日（火）
受 講 人 数	30名
会 場	京都コンサートホール 大ホール舞台上

研 修 名	コンプライアンス研修
実 施 日	令和7年2月3日（月） 令和7年3月4日（火）
受 講 人 数	計128名
会 場	京都市交響楽団練習場 合奏場 京都コンサートホール 大ホール舞台上

研 修 名	外部研修
実 施 日	令和6年10月2日（水）ほか
受 講 人 数	17名
研 修 内 容	「事故ミス防止研修」 「若手社員向けビジネスマインド強化研修」 「創造力強化研修」 「ビジネスデータの分析研修」 「論理的で分かりやすい文書の書き方研修」 ほか 主催 株式会社インソース
会 場	株式会社インソース大阪支社 セミナールーム

IV 環境への配慮

「環境モデル都市・京都」の取組として、平成20年2月に認証取得したKESステップ1について、令和7年1月に継続認証を取得しました。

また、エネルギー削減を行うため、施設内の適正冷暖房の設定及び不必要な電灯の消灯等の取組を徹底してまいりました。

V ファンドレイジング及びICT環境整備による財務の合理化の推進

より安定的な財源の確保を目指して、公的、民間を問わず外部資金の獲得の強化に努めました。

また、ICTの活用により、顧客サービスの向上と事務作業の負担軽減の両立を目指し、財務の合理化の推進に取り組みました。

VI 「中期経営計画2025」及び京都市交響楽団ビジョンの進捗管理

「中期経営計画2025」に基づき、計画に掲げる5つの経営方針の推進に取り組みました。また、「京響ビジョン」の5つの戦略の推進に向けて、京都市との協議・連携のもと、財

政・人的支援の確保を行い、京都市交響楽団の安定的な運営の実現に向け取組を進めてまいりました。

VII 庶務報告

1 役員会の開催

令和6年度は、次のとおり理事会及び評議員会を開催し、すべての議案について可決されました。

(1) 第1回理事会 令和6年5月22日

- <議案>
- ・令和5年度事業報告について
 - ・令和5年度特定費用準備資金及び特定資産取得・改良資金の保有及び積立計画の変更について
 - ・令和5年度補正予算について
 - ・令和5年度決算について
 - ・令和6年度補正予算について
 - ・令和6年度追加事業について
 - ・令和6年度第1回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について
 - ・一般社団法人KYOTO EXPERIMENTへの債務保証について
- <報告>
- ・「京響友の会」元会員から提起された訴訟について
 - ・京都市ジュニアオーケストラに係るクラウドファンディングの実施について

(2) 第1回評議員会 令和6年6月11日

- <議案>
- ・令和5年度事業報告について
 - ・令和5年度決算について
 - ・理事及び評議員の辞任について
 - ・理事の選任について
 - ・監事の選任について
 - ・評議員の選任について
 - ・評議員及び非常勤役員の報酬日額の決定について
- <報告>
- ・京都コンサートホール魅力向上事業（大規模改修基本設計）について
 - ・京都市ジュニアオーケストラに係るクラウドファンディングの実施について

(3) 第2回理事会 令和6年6月11日

(書面評決)

- <議案>
- ・代表理事（理事長）の選定について
 - ・業務執行理事の選定について
 - ・常勤役員（業務執行理事）の報酬額の決定について

(4) 第3回理事会 令和6年7月19日

(書面評決)

<議案> ・令和6年度第2回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について

(5) 第2回評議員会 令和6年8月1日

(書面評決)

<議案> ・評議員の選任について

(6) 第4回理事会 令和6年11月14日

<議案> ・令和7年度主要事業計画について
・令和6年度追加事業について
・令和6年度第3回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について

<報告> ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
・京都市ジュニアオーケストラに係るクラウドファンディングの実施について

(7) 第3回評議員会 令和6年12月1日

(書面評決)

<議案> ・評議員の辞任について
・評議員の選任について

(8) 第5回理事会 令和7年3月21日

<議案> ・令和6年度特定費用準備資金の保有について
・令和6年度補正予算について
・令和7年度事業計画について
・令和7年度収支予算について

<報告> ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
・京都コンサートホール魅力向上事業（大規模改修基本設計）について

2 役員の異動

(1) 第1回評議員会による承認

ア 理事の就任

新再任の別	氏名	役職(承認日現在)	就任日
新任	石田 洋也	元京都市職員	令和6年6月11日
〃	岡田 加津子	京都市立芸術大学音楽学部長	
再任	片山九郎衛門	観世流能楽師、公益社団法人京都観世会会長、公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団理事長	
新任	河島 伸子	同志社大学経済学部教授	
再任	川本 悟	元京都市音楽芸術文化振興財団事業管理部長	
〃	桑山 彩子	オルガニスト	
〃	榊田 隆之	京都信用金庫理事長	
〃	染川 里美	オムロン株式会社グローバルインベスター&プラントコミュニケーション本部 プラントコミュニケーション部長	
再任	竹内 善行	公益財団法人ロームミュージックファンデーション事務局長	
〃	西本 清一	地方独立行政法人京都市産業技術研究所理事長、公益財団法人京都高度技術研究所理事長	
再任	平賀 徹也	京都市文化市民局文化芸術都市推進室長	
〃	堀場 厚	株式会社堀場製作所代表取締役会長兼グループCEO、京都商工会議所副会頭	
再任	松田 規久子	株式会社京都新聞社編集局文化部編集委員	

イ 理事の退任

氏名	役職(退任日現在)	退任日
砂原 悟	前京都市立芸術大学音楽学部長	令和6年6月11日
森川 佳昭	元京都市職員	令和6年6月11日

ウ 監事の就任

新再任の別	氏名	役職(承認日現在)	就任日
再任	津嶋 俊郎	京都市文化市民局くらし安全推進部長	令和6年6月11日
〃	中路 健一	公認会計士	

エ 評議員の就任

新再任 の別	氏名	役職（承認日現在）	就任日
再任	赤松玉女	京都市立芸術大学学長	令和6年6月11日
〃	大西祐資	株式会社京都新聞社代表取締役社長・主筆	
〃	葛城万寿子	京都商工会議所女性会会長	
〃	北尾哲郎	日東薬品工業株式会社最高顧問	
新任	草木大	京都市文化芸術政策監	
再任	田中誠二	公益社団法人京都市観光協会会長、学校法人 人大和学園理事長	
再任	彦惣弘	弁護士	
〃	細井俊介	株式会社京都放送代表取締役社長	
〃	松本功	ロム株式会社代表取締役社長	
新任	村田大介	村田機械株式会社代表取締役社長	
〃	村上圭子	元京都市副市長、公益財団法人京都文化交 流コンベンションビューロー専務理事	
新任	山極壽一	公益財団法人京都市芸術文化協会理事長	

オ 評議員の退任

氏名	役職（退任日現在）	退任日
砂川敬	前京都市文化芸術政策監	令和6年6月11日
藤澤浩一	NHK京都放送局長	令和6年6月11日
星川茂一	元京都市副市長	令和6年6月11日

(2) 第2回評議員会による承認

ア 評議員の就任

氏名	役職（承認日現在）	就任日
屋敷陽太郎	NHK京都放送局局長	令和6年8月1日

(3) 第3回評議員会による承認

ア 評議員の就任

氏名	役職（承認日現在）	就任日
山本ひとみ	京都市文化芸術政策監	令和6年12月1日

イ 評議員の辞任

氏名	役職（承認日現在）	辞任日
草木大	前京都市文化芸術政策監	令和6年11月30日

3 登記事項

(1) 第1回評議員会による理事・監事及び評議員の変更

	氏名	登記日		氏名	登記日
理事	石田 洋也 岡田 加津子 片山九郎衛門 河島 伸子 川本 悟 桑山 彩子 榊田 隆之 染川 里美 竹内 善行 西本 清一 平賀 徹也 堀場 厚 松田 規久子	令和6年7月5日	評議員	赤松 玉女 大西 祐資 葛城 万寿子 北尾 哲郎 草木 大 田中 誠二 彦惣 弘 細井 俊介 松本 功 村田 大介 村上 圭子 山極 壽一	令和6年7月5日
監事	津嶋 俊郎 中路 健一				

(2) 第2回評議員会による評議員の変更

	氏名	登記日
評議員	屋敷 陽太郎	令和6年8月14日

(3) 第3回評議員会による評議員の変更

	氏名	登記日
評議員	山本 ひとみ	令和6年12月10日

VIII 会議等への参画による情報収集

下記の会議等に参画することで、事業や昨今の公立施設を取り巻く環境の変化について情報収集を行いました。

該当施設等	会 議 等
京都コンサートホール	公益社団法人全国公立文化施設協会
	公益社団法人全国公立文化施設協会近畿支部
	京都府公立文化施設協議会
	コンサートホール企画連絡会議
	劇場、音楽堂等連絡協議会
ロームシアター京都	公益社団法人全国公立文化施設協会
	公益社団法人全国公立文化施設協会近畿支部
	京都府公立文化施設協議会
	劇場、音楽堂等連絡協議会
	公共劇場舞台技術者連絡会
京 都 市 交 響 楽 団	公益社団法人日本オーケストラ連盟
財 団	大都市文化振興財団等連絡会

『収益事業』

I 公益目的外の施設提供事業

1 駐車場経営

指定管理業務として、主に来館者向け駐車場を運営しました。

(参考)

会館名	駐車可能台数	収入金額
京都コンサートホール	100台	16,752,410円
東部文化会館	37台	3,651,100円
西文化会館ウエスティ	53台	5,018,200円
右京ふれあい文化会館	67台	6,397,900円
計	257台	31,819,610円

2 オリジナルグッズ販売等

京都コンサートホールオリジナルグッズ(16種類)、音楽に関連したグッズ(30種類)、ロームシアター京都オリジナルグッズ(2種類)及び京響オリジナルグッズ(12種類)を販売しました。

(参考)

項目	収入金額
京都コンサートホールグッズ収入	545,353円
ロームシアター京都グッズ収入	481,200円
プログラム等販売収入	292,373円
京響オリジナルグッズ収入	957,730円
計	2,276,656円

3 プレイガイドの運営

主催者から、入場券の作成業務及び入場券の販売業務を受託し、それぞれのプレイガイドで販売しました。

(参考) 入場券販売業務受託状況

会館名	受託件数	収入金額
京都コンサートホール	162件	15,720,924円
東部文化会館	1件	3,240円
呉竹文化センター	9件	61,430円
西文化会館ウエスティ	2件	4,840円
北文化会館	11件	61,870円
右京ふれあい文化会館	3件	39,000円
ロームシアター京都	110件	12,234,624円
計	298件	28,125,928円

4 自動販売機の管理運営

京都コンサートホール等に設置された自動販売機の管理運営を行いました。

(参考)

会館名	収入金額
京都コンサートホール	23,826 円
ロームシアター京都	671,000 円
計	694,826 円

令和6年度

決 算 書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	359,535,418	287,627,238	71,908,180
未収金	299,822,290	329,816,480	△ 29,994,190
貯蔵品	9,014,689	7,658,656	1,356,033
立替金	18,957,489	5,298,916	13,658,573
前払金	1,765,341	0	1,765,341
流動資産合計	689,095,227	630,401,290	58,693,937
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	100,000,000	100,000,000	0
普通預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	103,000,000	103,000,000	0
(2)特定資産			
記念事業引当資産	56,920,000	56,920,000	0
管理運営引当資産	331,000,000	331,000,000	0
退職給付引当資産	170,363,326	167,720,663	2,642,663
楽団職退職手当準備資金	175,142,235	173,310,713	1,831,522
京都コンサートホール記念事業準備資金	32,000,000	32,000,000	0
ロームシアター京都記念事業準備資金	40,000,000	40,000,000	0
京響70周年記念事業準備資金	110,000,000	103,500,000	6,500,000
京都市ジュニアオーケストラ合同公演準備資金	4,610,000	0	4,610,000
楽器購入資金 (ハープ)	17,000,000	17,000,000	0
楽器購入資金 (コントラファゴット)	26,000,000	15,000,000	11,000,000
楽器購入資金 (コントラバス)	0	13,500,000	△ 13,500,000
楽器購入資金 (チューバ)	0	6,000,000	△ 6,000,000
楽器購入資金 (チェリスト)	10,000,000	0	10,000,000
特定資産合計	973,035,561	955,951,376	17,084,185
(3)その他固定資産			
什器備品	72,017,746	61,033,138	10,984,608
電話加入権	314,370	314,370	0
その他固定資産合計	72,332,116	61,347,508	10,984,608
固定資産合計	1,148,367,677	1,120,298,884	28,068,793
資産合計	1,837,462,904	1,750,700,174	86,762,730
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	292,465,939	303,513,536	△ 11,047,597
未払法人税等	320,000	320,000	0
前受金	318,410,055	255,832,825	62,577,230
預り金	94,353,614	90,424,639	3,928,975
賞与引当金	42,528,755	38,475,633	4,053,122
流動負債合計	748,078,363	688,566,633	59,511,730
2. 固定負債			
退職給付引当金	170,363,326	167,720,663	2,642,663
固定負債合計	170,363,326	167,720,663	2,642,663
負債合計	918,441,689	856,287,296	62,154,393

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出えん金	55,000,000	55,000,000	0
京都市補助金	175,142,235	173,310,713	1,831,522
指定正味財産合計	230,142,235	228,310,713	1,831,522
(うち基本財産への充当額)	(55,000,000)	(55,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(175,142,235)	(173,310,713)	1,831,522
2. 一般正味財産	688,878,980	666,102,165	22,776,815
(うち基本財産への充当額)	(48,000,000)	(48,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(627,530,000)	(614,920,000)	12,610,000
正味財産合計	919,021,215	894,412,878	24,608,337
負債及び正味財産合計	1,837,462,904	1,750,700,174	86,762,730

令和6年度正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
①基本財産運用益	355,000	355,000	0	
1 基本財産運用益	355,000	355,000	0	
基本財産受取利息等	355,000	355,000	0	
②特定資産運用益	730,519	333,392	397,127	
1 特定資産運用益	730,519	333,392	397,127	
特定資産受取利息等	730,519	333,392	397,127	
③事業収益	2,134,556,674	2,142,358,262	△ 7,801,588	
1 自主・共催事業収益	497,315,002	572,310,041	△ 74,995,039	
入場料収益	181,718,420	169,018,220	12,700,200	
参加料収益	2,866,148	2,339,500	526,648	
友の会会費	61,323,500	62,119,900	△ 796,400	
京響コーラス会費	2,864,500	3,268,000	△ 403,500	
広告料収益	25,719,550	49,768,750	△ 24,049,200	
共催事業収益	55,221,562	116,757,755	△ 61,536,193	
助成金収益	164,546,750	166,045,000	△ 1,498,250	
物品販売等収益	2,258,196	2,237,964	20,232	
著作隣接権等収益	796,376	754,952	41,424	
2 事業受託収益	164,972,354	141,454,699	23,517,655	
事業受託収益	164,972,354	141,454,699	23,517,655	
3 管理受託収益	758,081,999	776,864,502	△ 18,782,503	
管理受託収益	758,081,999	776,864,502	△ 18,782,503	
4 利用料収益	670,744,262	609,032,193	61,712,069	
ホール利用料金収益	638,924,652	579,459,483	59,465,169	
駐車場利用料金収益	31,819,610	29,572,710	2,246,900	
5 その他事業収益	43,443,057	42,696,827	746,230	
企画・演出手数料等収益	9,351,475	9,292,317	59,158	
賑わい事業収益	20,011,752	20,156,304	△ 144,552	
プレカイト事務手数料収益	14,079,830	13,248,206	831,624	
④受取補助金等	884,906,632	854,897,286	30,009,346	
1 受取地方公共団体補助金	884,906,632	854,897,286	30,009,346	
京都市補助金	884,906,632	854,897,286	30,009,346	
⑤受取寄付金	8,860,250	25,231,000	△ 16,370,750	
1 受取寄付金	8,860,250	25,231,000	△ 16,370,750	
寄付金収益	8,860,250	25,231,000	△ 16,370,750	
⑥雑収益	17,018,684	24,315,982	△ 7,297,298	
1 雑収益	17,018,684	24,315,982	△ 7,297,298	
受取利息等	314	28	286	
管理手数料等収益	16,229,636	10,328,572	5,901,064	
雑収益	788,734	13,987,382	△ 13,198,648	
経常収益合計	3,046,427,759	3,047,490,922	△ 1,063,163	

令和6年度正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
(2)経常費用				
①事業費	2,986,270,259	2,944,020,697	42,249,562	
役員報酬	6,762,973	6,133,183	629,790	
給料手当	1,119,746,306	1,044,768,492	74,977,814	
賞与引当金繰入額	41,140,282	36,578,843	4,561,439	
退職給付費用	11,332,160	24,486,446	△ 13,154,286	
臨時雇賃金	39,986,558	44,101,715	△ 4,115,157	
福利厚生費	193,253,384	186,584,174	6,669,210	
会議費	426	0	426	
旅費交通費	32,342,722	29,308,322	3,034,400	
通信運搬費	21,347,059	23,386,073	△ 2,039,014	
減価償却費	11,446,746	7,795,637	3,651,109	
消耗什器備品費	674,080	2,967,260	△ 2,293,180	
消耗品費	38,891,000	37,999,762	891,238	
商品費	1,508,005	1,073,057	434,948	
見本費	4,414	12,727	△ 8,313	
修繕費	23,669,480	35,787,936	△ 12,118,456	
印刷製本費	30,467,492	35,729,713	△ 5,262,221	
広告宣伝費	14,473,169	20,100,224	△ 5,627,055	
光熱水料費	267,620,416	236,987,471	30,632,945	
賃借料	69,173,752	69,774,879	△ 601,127	
保険料	2,557,892	2,383,044	174,848	
諸謝金	3,720,327	2,821,577	898,750	
租税公課	66,299,891	65,538,822	761,069	
支払負担金	30,897,616	42,342,171	△ 11,444,555	
チケット購入額	22,080	403,105	△ 381,025	
委託費	947,901,178	974,005,339	△ 26,104,161	
接遇交際費	81,040	22,825	58,215	
支払手数料等	8,567,404	11,215,344	△ 2,647,940	
雑費	2,382,407	1,712,556	669,851	
②管理費	35,229,163	35,970,538	△ 741,375	
役員報酬	5,129,834	4,710,929	418,905	
給料手当	19,191,744	15,546,111	3,645,633	
賞与引当金繰入額	1,388,473	1,896,790	△ 508,317	
退職給付費用	230,987	862,876	△ 631,889	
福利厚生費	3,072,657	4,925,373	△ 1,852,716	
会議費	147,059	0	147,059	
旅費交通費	299,950	202,260	97,690	
通信運搬費	77,145	59,089	18,056	
減価償却費	176,976	187,760	△ 10,784	
消耗品費	754,970	967,040	△ 212,070	
修繕費	28,270	31,229	△ 2,959	
印刷製本費	39,600	24,750	14,850	

令和6年度正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
保険料	0	252,880	△ 252,880	
諸謝金	715,074	492,334	222,740	
租税公課	1,090,909	2,675,328	△ 1,584,419	
支払負担金	521,884	937,500	△ 415,616	
委託費	1,123,750	1,135,250	△ 11,500	
接遇交際費	30,000	20,000	10,000	
支払手数料等 雑費	1,209,881 0	1,041,419 1,620	168,462 △ 1,620	
経常費用合計	3,021,499,422	2,979,991,235	41,508,187	
当期経常増減額	24,928,337	67,499,687	△ 42,571,350	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	23,096,815	25,499,687	△ 2,402,872	
法人税、住民税及び事業税	320,000	320,000	0	
当期一般正味財産増減額	22,776,815	25,179,687	△ 2,402,872	
一般正味財産期首残高	666,102,165	640,922,478	25,179,687	
一般正味財産期末残高	688,878,980	666,102,165	22,776,815	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	1,831,522	42,000,000	△ 40,168,478	
指定正味財産期首残高	228,310,713	186,310,713	42,000,000	
指定正味財産期末残高	230,142,235	228,310,713	1,831,522	
III 正味財産期末残高	919,021,215	894,412,878	24,608,337	

令和6年度正味財産増減計算書 内訳書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	ホケステラによる 文化芸術事業					
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1)経常収益							
①基本財産運用益	355,000	0	355,000	0	0	0	355,000
1 基本財産運用益	355,000	0	355,000	0	0	0	355,000
基本財産受取利息等	355,000	0	355,000	0	0	0	355,000
②特定資産運用益	730,519	0	730,519	0	0	0	730,519
1 特定資産運用益	730,519	0	730,519	0	0	0	730,519
特定資産受取利息等	730,519	0	730,519	0	0	0	730,519
③事業収益	1,456,036,163	409,584,382	1,865,620,545	440,835,510	35,229,163	△ 207,128,544	2,134,556,674
1 自主・共催事業収益	264,425,785	231,310,351	495,736,136	2,282,156	0	△ 703,290	497,315,002
入場料収益	94,550,170	87,168,250	181,718,420	0	0	0	181,718,420
参加料収益	2,866,148	0	2,866,148	0	0	0	2,866,148
友の会会費	3,768,000	57,555,500	61,323,500	0	0	0	61,323,500
京響コース会費	0	2,864,500	2,864,500	0	0	0	2,864,500
広告料収益	25,719,550	0	25,719,550	0	0	0	25,719,550
共催事業収益	38,867,917	17,032,975	55,900,892	0	0	△ 679,330	55,221,562
助成金収益	98,654,000	65,892,750	164,546,750	0	0	0	164,546,750
物品販売等収益	0	0	0	2,282,156	0	△ 23,960	2,258,196
著作隣接権等収益	0	796,376	796,376	0	0	0	796,376
2 事業受託収益	44,262,820	178,274,031	222,536,851	0	0	△ 57,564,497	164,972,354
事業受託収益	44,262,820	178,274,031	222,536,851	0	0	△ 57,564,497	164,972,354
3 管理受託収益	600,105,741	0	600,105,741	122,747,095	35,229,163	0	758,081,999
管理受託収益	600,105,741	0	600,105,741	122,747,095	35,229,163	0	758,081,999
4 利用料収益	547,241,817	0	547,241,817	255,463,996	0	△ 131,961,551	670,744,262
ホール利用料金収益	547,241,817	0	547,241,817	223,644,386	0	△ 131,961,551	638,924,652
駐車場利用料金収益	0	0	0	31,819,610	0	0	31,819,610
5 その他事業収益	0	0	0	60,342,263	0	△ 16,899,206	43,443,057
企画・演出手数料等収益	0	0	0	12,204,583	0	△ 2,853,108	9,351,475
賑わい事業収益	0	0	0	20,011,752	0	0	20,011,752
プレイガイド事務手数料収益	0	0	0	28,125,928	0	△ 14,046,098	14,079,830
④受取補助金等	0	878,284,131	878,284,131	6,622,501	0	0	884,906,632
1 受取地方公共団体補助金	0	878,284,131	878,284,131	6,622,501	0	0	884,906,632
京都市補助金	0	878,284,131	878,284,131	6,622,501	0	0	884,906,632
⑤受取寄付金	8,056,000	804,250	8,860,250	0	0	0	8,860,250
1 受取寄付金	8,056,000	804,250	8,860,250	0	0	0	8,860,250
寄付金収益	8,056,000	804,250	8,860,250	0	0	0	8,860,250
⑥雑収益	314	0	314	17,018,370	0	0	17,018,684
1 雑収益	314	0	314	17,018,370	0	0	17,018,684
受取利息等	314	0	314	0	0	0	314
管理手数料等収益	0	0	0	16,229,636	0	0	16,229,636
雑収益	0	0	0	788,734	0	0	788,734
経常収益合計	1,465,177,996	1,288,672,763	2,753,850,759	464,476,381	35,229,163	△ 207,128,544	3,046,427,759

令和6年度正味財産増減計算書 内訳書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	ホケステラによる 文化芸術事業					
(2)経常費用							
①事業費	1,439,485,146	1,290,139,743	2,729,624,889	463,773,914	0	△ 207,128,544	2,986,270,259
役員報酬	3,864,556	2,415,348	6,279,904	483,069	0	0	6,762,973
給料手当	277,787,724	717,318,093	995,105,817	124,640,489	0	0	1,119,746,306
賞与引当金繰入額	22,585,008	8,938,364	31,523,372	9,616,910	0	0	41,140,282
退職給付費用	6,385,239	1,847,937	8,233,176	3,098,984	0	0	11,332,160
臨時雇賃金	5,813,962	8,024,014	13,837,976	26,148,582	0	0	39,986,558
福利厚生費	49,589,168	117,107,762	166,696,930	26,556,454	0	0	193,253,384
会議費	426	0	426	0	0	0	426
旅費交通費	15,169,220	17,064,890	32,234,110	140,172	0	△ 31,560	32,342,722
通信運搬費	10,331,165	10,233,161	20,564,326	806,933	0	△ 24,200	21,347,059
減価償却費	3,402,399	7,296,398	10,698,797	747,949	0	0	11,446,746
消耗什器備品費	222,928	294,976	517,904	156,176	0	0	674,080
消耗品費	21,419,289	11,252,004	32,671,293	6,267,707	0	△ 48,000	38,891,000
商品費	0	0	0	1,508,005	0	0	1,508,005
見本費	0	0	0	4,414	0	0	4,414
修繕費	13,057,799	6,491,640	19,549,439	4,120,041	0	0	23,669,480
印刷製本費	18,947,533	9,812,255	28,759,788	1,827,704	0	△ 120,000	30,467,492
広告宣伝費	8,885,794	5,468,812	14,354,606	118,563	0	0	14,473,169
光熱水料費	199,691,147	7,228,508	206,919,655	60,700,761	0	0	267,620,416
賃借料	105,727,044	89,714,133	195,441,177	2,489,460	0	△ 128,756,885	69,173,752
保険料	1,170,380	1,239,532	2,409,912	147,980	0	0	2,557,892
諸謝金	1,416,644	931,156	2,347,800	1,372,527	0	0	3,720,327
租税公課	36,147,062	2,210,127	38,357,189	27,942,702	0	0	66,299,891
支払負担金	2,206,683	28,357,603	30,564,286	333,330	0	0	30,897,616
チケット購入額	22,080	0	22,080	0	0	0	22,080
支援事業助成金	3,204,666	0	3,204,666	0	0	△ 3,204,666	0
委託費	627,396,782	234,160,651	861,557,433	161,263,018	0	△ 74,919,273	947,901,178
接遇交際費	0	81,040	81,040	0	0	0	81,040
支払手数料等	3,504,597	1,806,652	5,311,249	3,256,155	0	0	8,567,404
雑費	1,535,851	844,687	2,380,538	25,829	0	△ 23,960	2,382,407
②管理費	0	0	0	0	35,229,163	0	35,229,163
役員報酬	0	0	0	0	5,129,834	0	5,129,834
給料手当	0	0	0	0	19,191,744	0	19,191,744
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	1,388,473	0	1,388,473
退職給付費用	0	0	0	0	230,987	0	230,987
福利厚生費	0	0	0	0	3,072,657	0	3,072,657
会議費	0	0	0	0	147,059	0	147,059
旅費交通費	0	0	0	0	299,950	0	299,950
通信運搬費	0	0	0	0	77,145	0	77,145
減価償却費	0	0	0	0	176,976	0	176,976
消耗品費	0	0	0	0	754,970	0	754,970
修繕費	0	0	0	0	28,270	0	28,270
印刷製本費	0	0	0	0	39,600	0	39,600

令和6年度正味財産増減計算書 内訳書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公1	公2	小 計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	ホケステラによる 文化芸術事業					
諸謝金	0	0	0	0	715,074	0	715,074
租税公課	0	0	0	0	1,090,909	0	1,090,909
支払負担金	0	0	0	0	521,884	0	521,884
委託費	0	0	0	0	1,123,750	0	1,123,750
接遇交際費	0	0	0	0	30,000	0	30,000
支払手数料等	0	0	0	0	1,209,881	0	1,209,881
雑費	0	0	0	0	0	0	0
経常費用合計	1,439,485,146	1,290,139,743	2,729,624,889	463,773,914	35,229,163	△ 207,128,544	3,021,499,422
当期経常増減額	25,692,850	△ 1,466,980	24,225,870	702,467	0	0	24,928,337
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	25,692,850	△ 3,298,502	22,394,348	702,467	0	0	23,096,815
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	320,000	0	0	320,000
当期一般正味財産増減額	25,692,850	△ 3,298,502	22,394,348	382,467	0	0	22,776,815
一般正味財産期首残高			659,903,582	6,198,583	0	0	666,102,165
一般正味財産期末残高			682,297,930	6,581,050	0	0	688,878,980
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額		1,831,522	1,831,522	0	0	0	1,831,522
指定正味財産期首残高			228,310,713	0	0	0	228,310,713
指定正味財産期末残高			230,142,235	0	0	0	230,142,235
III 正味財産期末残高			912,440,165	6,581,050	0	0	919,021,215

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…購入時の取得価額による。なお償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び貯蔵品…先入先出法による原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

当財団経理規程第21条に従い、償却費の計算は定率法により行っており、勘定記入の方法は直接法により行っている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を引き当てている。

退職給付引当金…職員の退職金の支払に備えるため、財団の規程に基づき算出した要支給額から独立行政法人勤労者退職金共済機構の中退共制度による外部拠出額を控除した金額を引き当てている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の取扱いについては、税込処理方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	103,000,000	0	0	103,000,000
特定資産				
記念事業引当資産	56,920,000	0	0	56,920,000
管理運営引当資産	331,000,000	0	0	331,000,000
退職給付引当資産	167,720,663	13,315,672	10,673,009	170,363,326
楽団職退職手当準備資金	173,310,713	53,000,000	51,168,478	175,142,235
京都コンサートホール記念事業準備資金	32,000,000	0	0	32,000,000
ロームシアター京都記念事業準備資金	40,000,000	0	0	40,000,000
京響70周年記念事業準備資金	103,500,000	6,500,000	0	110,000,000
京都市ソ・エアオーケストラ合同公演準備資金	0	4,610,000	0	4,610,000
楽器購入資金 (ハーフ)	17,000,000	0	0	17,000,000
楽器購入資金 (コントラファゴット)	15,000,000	11,000,000	0	26,000,000
楽器購入資金 (コントラバス)	13,500,000	0	13,500,000	0
楽器購入資金 (チューバ)	6,000,000	0	6,000,000	0
楽器購入資金 (チェレスタ)	0	10,000,000	0	10,000,000
小 計	955,951,376	98,425,672	81,341,487	973,035,561
合 計	1,058,951,376	98,425,672	81,341,487	1,076,035,561

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
京都市債	100,000,000	(55,000,000)	(45,000,000)	-
普通預金	3,000,000	(0)	(3,000,000)	-
小 計	103,000,000	(55,000,000)	(48,000,000)	(0)
特定資産				
記念事業引当資産	56,920,000	(0)	(56,920,000)	-
管理運営引当資産	331,000,000	(0)	(331,000,000)	-
退職給付引当資産	170,363,326	(0)	(0)	(170,363,326)
楽団職退職手当準備資金	175,142,235	(175,142,235)	(0)	-
京都コンサートホール記念事業準備資金	32,000,000	(0)	(32,000,000)	-
ロームシアター京都記念事業準備資金	40,000,000	(0)	(40,000,000)	-
京響70周年記念事業準備資金	110,000,000	(0)	(110,000,000)	-
京都市ミュージアムホール合同公演準備資金	4,610,000	(0)	(4,610,000)	-
楽器購入資金 (ハーブ)	17,000,000	(0)	(17,000,000)	-
楽器購入資金 (コントラファゴット)	26,000,000	(0)	(26,000,000)	-
楽器購入資金 (チェレスタ)	10,000,000	(0)	(10,000,000)	-
小 計	973,035,561	(175,142,235)	(627,530,000)	(170,363,326)
合 計	1,076,035,561	(230,142,235)	(675,530,000)	(170,363,326)

4. 固定資産取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	243,261,860	171,244,114	72,017,746

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価並びに評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益	
京都市令和4年度グリーンボンド [®] 公募公債	50,000,000	49,010,000	△ 990,000	退職給付引当資産
京都市令和5年度グリーンボンド [®] 公募公債	50,000,000	48,470,000	△ 1,530,000	退職給付引当資産
京都市令和6年度グリーンボンド [®] 公募公債	50,000,000	49,515,000	△ 485,000	管理運営引当資産
京都市債5年(令和4年度第5回)	50,000,000	49,140,000	△ 860,000	管理運営引当資産
京都市債5年(令和5年度第5回)	50,000,000	48,760,000	△ 1,240,000	管理運営引当資産
18回 京都市公募公債 20年	100,000,000	78,530,000	△ 21,470,000	基本財産
合 計	350,000,000	323,425,000	△ 26,575,000	

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金 京都市交響楽団事業負担金 交付者 京都市	173,310,713	884,906,632	883,075,110	175,142,235
受取補助金計	173,310,713	884,906,632	883,075,110	175,142,235

補助金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
助成金				
舞台芸術創造活動活性化事業 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	63,709,000	63,709,000	0
劇場・音楽堂等機能強化推進事業 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	56,440,000	56,440,000	0
文化施設による高付加価値化機能強化支援事業 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	1,912,000	1,912,000	0
劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業 交付者 文化庁	0	683,750	683,750	0
公演助成 交付者 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション	0	31,000,000	31,000,000	0
公演助成 交付者 一般財団法人 地域創造	0	4,518,000	4,518,000	0
公演助成 交付者 公益財団法人 青山財団	0	500,000	500,000	0
公演助成 交付者 独立行政法人 国際交流基金	0	3,999,000	3,999,000	0
公演助成 交付者 公益財団法人 日本室内楽振興財団	0	200,000	200,000	0
公演助成 交付者 ゲーテ・インス ティテュート大阪京都	0	85,000	85,000	0
公演助成 交付者 公益財団法人 アフィニス文化財団	0	1,000,000	1,000,000	0
公演助成 交付者 三菱UFJ信託芸 術文化財団	0	500,000	500,000	0
受取助成金計	0	164,546,750	164,546,750	0
合計	173,310,713	1,049,453,382	1,047,621,860	175,142,235

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手許保管	運転資金として	3,275,537
普通預金	総務課、管理課、事業企画課		
	京都銀行下鴨支店	〃	80,777,619
	三菱UFJ銀行京都支店	〃	2,898,632
	京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	69,372
	京都信用金庫北山支店	〃	64,057
	三井住友信託銀行京都支店	〃	27,272
	ゆうちょ銀行京都北山支店	〃	1,441,462
	ロームシアター京都		
	京都銀行京都市役所前支店	〃	87,533,535
	京都市東部文化会館		
	京都銀行山科中央支店	〃	8,060,693
	京都市呉竹文化センター		
	京都銀行伏見支店	〃	14,612,370
	京都市西文化会館ウエスティ		
	京都銀行上桂支店	〃	5,318,810
	京都市北文化会館		
	京都銀行鞍馬口支店	〃	5,590,494
	京都市右京ふれあい文化会館		
	京都銀行太秦安井支店	〃	14,656,853
	京都市交響楽団		
	京都銀行下鴨支店	〃	140,947,708
	三菱UFJ銀行京都支店	〃	110,401
	三井住友銀行京都支店	〃	0
	京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	3,935,049
	京都信用金庫北山支店	〃	3,370,554
郵便振替	管理課	〃	21,576
	ロームシアター京都	〃	1,191,313
	京都市東部文化会館	〃	4,842
	京都市呉竹文化センター	〃	622,420
	京都市西文化会館ウエスティ	〃	347,780
	京都市北文化会館	〃	990
	京都市右京ふれあい文化会館	〃	999,230
	京都市交響楽団	〃	1,156,849
未収金	総務課	指定管理料等	78,099,099
	管理課、事業企画課	ホール利用料金等	51,203,282
	ロームシアター京都	〃	77,280,562
	京都市東部文化会館	〃	119,470
	京都市呉竹文化センター	〃	173,350
	京都市西文化会館ウエスティ	〃	10
	京都市北文化会館	〃	186,280
	京都市右京ふれあい文化会館	〃	434,770
	京都市交響楽団	公演料、助成金等	74,825,467
貯蔵品	管理課	販売用商品	684,571
	ロームシアター京都	販売用商品、照明用ボリカー	3,718,317
	京都市東部文化会館	照明用ボリカー	705,230

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	貯蔵品	京都市呉竹文化センター	〃	823,660
		京都市西文化会館 ウェスティ	〃	1,030,277
		京都市北文化会館	〃	465,559
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	423,556
		京都市交響楽団	〃	1,163,519
	立替金	総務課	光熱水料費等	196,135
		管理課、事業企画課	〃	136,888
		ロームシアター京都	〃	18,099,180
	前払金	京都市交響楽団	〃	525,286
		事業企画課	令和7年度事業のレクリエーション保険	146,217
	京都市交響楽団	令和7年度公演の出演者渡航費用	1,619,124	
流動資産合計				689,095,227
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	18回 京都市公募公債(20年)	運用益を公益目的事業の財源と	100,000,000
	普通預金	京都銀行下鴨支店	している	3,000,000
特定資産	記念事業引当資産	普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	56,920,000
		管理運営引当資産	京都市債 令和4年度第5回(5年)	〃
		京都市債 令和5年度第5回(5年)	〃	50,000,000
		京都市債 令和6年度グリーンボンド [®] 公募公債	〃	50,000,000
		定期預金 京都銀行下鴨支店	〃	20,000,000
		定期預金 三菱UFJ銀行京都支店	〃	10,000,000
		定期預金 三井住友信託銀行京都支店	〃	10,000,000
		定期預金 京都中央信用金庫北島丸支店	〃	10,000,000
		普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	131,000,000
	退職給付引当資産	京都市債 令和4年度グリーンボンド [®] 公募公債	退職給付引当金に充てる	50,000,000
		京都市債 令和5年度グリーンボンド [®] 公募公債	〃	50,000,000
		定期預金 京都信用金庫北山支店	〃	10,000,000
		普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	60,363,326
		特定費用準備資金	普通預金 京都銀行下鴨支店	楽団職退職手当準備資金
	〃		京都コンサートホール記念事業準備資金	32,000,000
	〃		ロームシアター京都記念事業準備資金	40,000,000
	〃		京響70周年記念事業準備資金	110,000,000
	〃		京都市シニアオーケストラ合同公演準備資金	4,610,000
	特定資産取得・改良資金	普通預金 京都銀行下鴨支店	什器備品購入(ハーブ)	17,000,000
〃		什器備品購入(コントラファゴット)	26,000,000	
〃		什器備品購入(チェレスタ)	10,000,000	
その他固定資産	什器備品	総務課	什器備品	141,312
		管理課、事業企画課	〃	2,235,625
		ロームシアター京都	〃	3,746,016
		京都市東部文化会館	〃	374,696
		京都市呉竹文化センター	〃	374,696
		京都市西文化会館 ウェスティ	〃	490,832
		京都市北文化会館	〃	374,697
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	374,696
		京都市交響楽団	〃	63,905,176
		管理課、事業企画課	電話加入権	314,370
	電話加入権			
固定資産合計				1,148,367,677
資産合計				1,837,462,904

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	総務課	人件費等	68,875,179
		管理課、事業企画課	公演経費、ホール運営経費等	47,462,011
		ロームシアター京都	ホール運営経費等	49,033,420
		京都市東部文化会館	〃	1,233,421
		京都市呉竹文化センター	〃	1,787,404
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	678,776
		京都市北文化会館	〃	3,574,757
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	1,317,344
		京都市交響楽団	人件費、公演経費等	118,503,627
		未払法人税等 前受金	総務課	法人税等
	管理課、事業企画課		ホール利用料金等	62,499,615
	ロームシアター京都		〃	159,219,210
	京都市東部文化会館		〃	4,119,180
	京都市呉竹文化センター		〃	8,049,230
	京都市西文化会館ウエスティ		〃	4,675,500
	京都市北文化会館		〃	7,374,310
	京都市右京ふれあい文化会館		〃	6,696,210
	京都市交響楽団		友の会会費等	65,776,800
	預り金		総務課	社会保険料等
		管理課、事業企画課	チケット購入代金等	37,900,862
		ロームシアター京都	〃	33,957,240
		京都市東部文化会館	舞台設備料等	1,558,755
		京都市呉竹文化センター	〃	1,776,456
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	378,699
		京都市北文化会館	〃	266,706
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	1,577,744
		京都市交響楽団	〃	10,936,697
賞与引当金		職員	賞与引当金	42,528,755
流動負債合計				748,078,363
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員退職給付引当金	170,363,326
固定負債合計				170,363,326
負債合計				918,441,689
正味財産				919,021,215